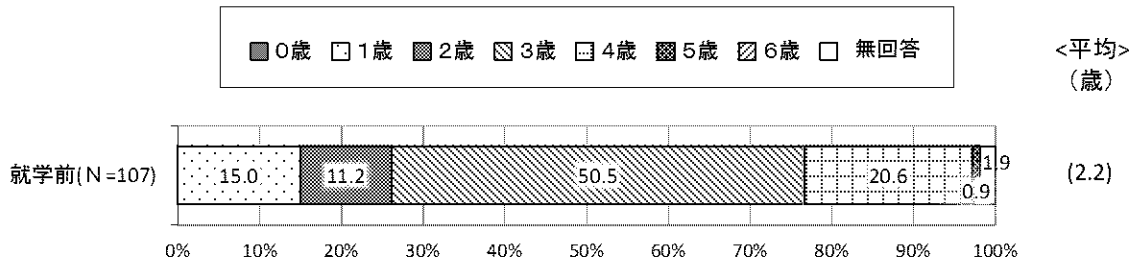


■ 子どもが何歳になれば教育・保育の事業を利用したいか

N = 107



就学前(N=107)		
年齢	(人)	(%)
0歳	0	0.0
1歳	16	15.0
2歳	12	11.2
3歳	54	50.5
4歳	22	20.6
5歳	1	0.9
6歳	0	0.0
無回答	2	1.9
計	107	100.0

(8) 子どもの平日の教育・保育の事業として定期的にご利用したい事業 (複数回答)

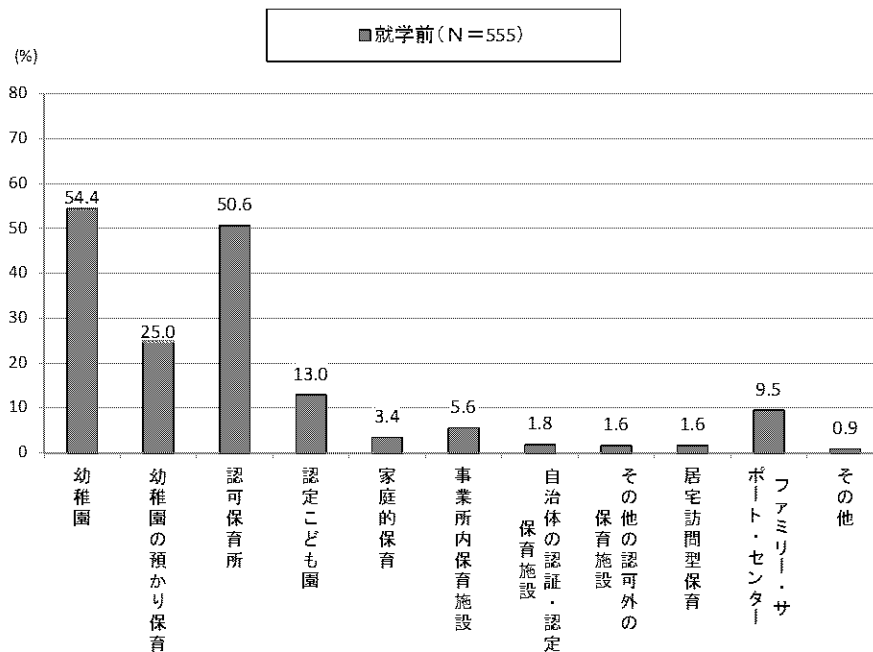
就学前児童：問 16

平日の教育・保育の事業として定期的にご利用したい事業について、「幼稚園」(54.4%)が最も多く、次いで「認可保育所」(50.6%)、「幼稚園の預かり保育」(25.0%)、「認定こども園」(13.0%)と続きます。

利用したいと考えている事業の中で、認可保育所を幼稚園が上回り、認定こども園とファミリー・サポート・センターの割合は、実際の利用よりも高くなっていることがうかがえます。

■ 平日に定期的にご利用したい教育・保育の事業

N = 555

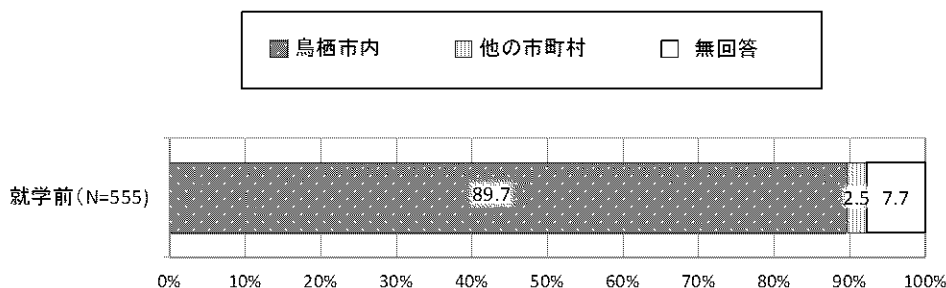


(9) 教育・保育事業を利用したい場所

就学前児童：問 16-1

教育・保育事業を利用する場所の意向として、「鳥栖市内」が 89.7%、「他の市町村」が 2.5% となっています。

■ 教育・保育事業を利用したい場所 N=555



6. 子どもの地域の子育て支援事業の利用状況

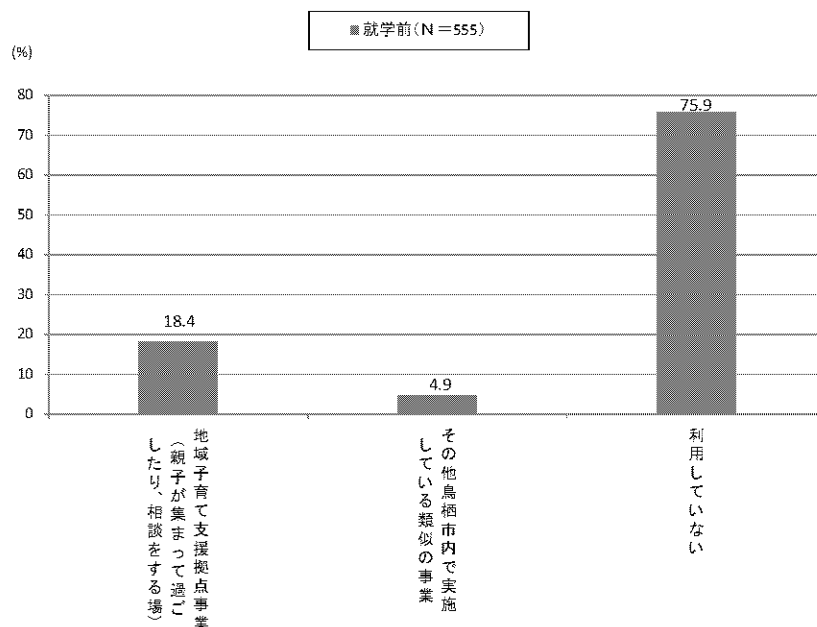
(1) 子どもの現在の「地域子育て支援センター」の利用状況（複数回答）

就学前児童：問 17

「地域子育て支援センター」（地域子育て支援拠点事業）を利用していると回答した人は 18.4% みられ、「その他鳥栖市内で実施している類似の事業」を利用している人は 4.9% となっています。利用していない人は 75.9% みられます。

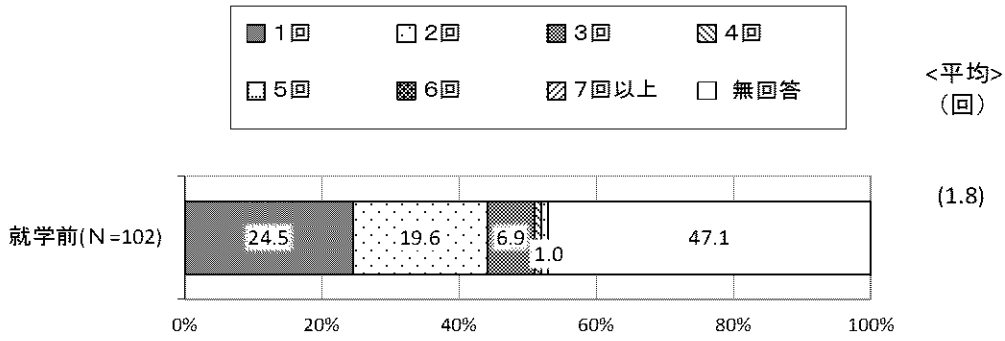
1 週あたりの利用頻度としては、「1 回」（24.5%）や「2 回」（19.6%）が多い結果となっており、1 ヶ月あたりの利用頻度としては「1 回」（19.6%）が最も多く、次いで「2 回」（15.7%）、「3 回」（10.8%）となります。

■ 地域子育て支援センターの利用状況 N=555



■ 地域子育て支援センターの利用頻度（1週あたり）

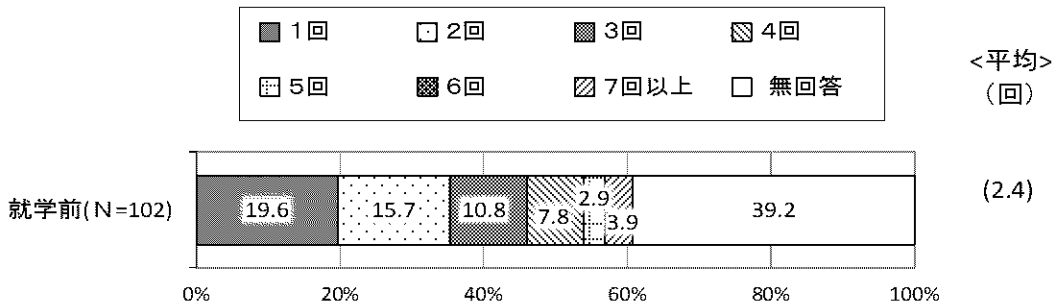
N=102



就学前(N=102)		
利用回数	(人)	(%)
1回	25	24.5
2回	20	19.6
3回	7	6.9
4回	1	1.0
5回	1	1.0
6回	0	0.0
7回以上	0	0.0
無回答	48	47.1
計	102	100.0

■ 地域子育て支援センターの利用頻度（1ヶ月あたり）

N=102



就学前(N=102)		
利用回数	(人)	(%)
1回	20	19.6
2回	16	15.7
3回	11	10.8
4回	8	7.8
5回	3	2.9
6回	0	0.0
7回以上	4	3.9
無回答	40	39.2
計	102	100.0

(2) 子どもの現在の「その他鳥栖市内で実施している類似事業」の利用状況（複数回答）

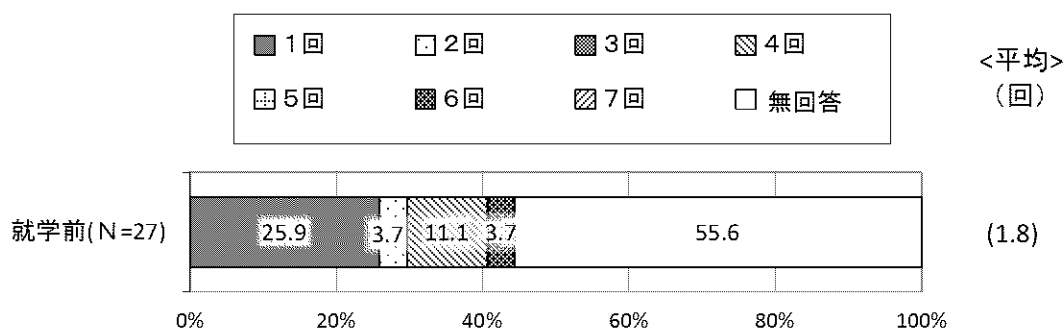
就学前児童：問 17

その他鳥栖市内で実施している類似事業を利用していると回答した人の1週あたりの利用頻度としては、無回答を除き「1回」（25.9%）、次いで「4回」（11.1%）という結果になっています。

1ヶ月あたりの利用頻度としては、無回答を除き「1回」（29.6%）が最も多く、次いで「2回」（11.1%）となります。また、類似事業の具体名として、「図書館（絵本の会）」、「おもちゃ図書館」、「園庭開放」、「療育医療センター」、「きらり教室」などの回答がみられました。

■ 「その他鳥栖市内で実施している類似事業」の利用頻度（1週あたり）

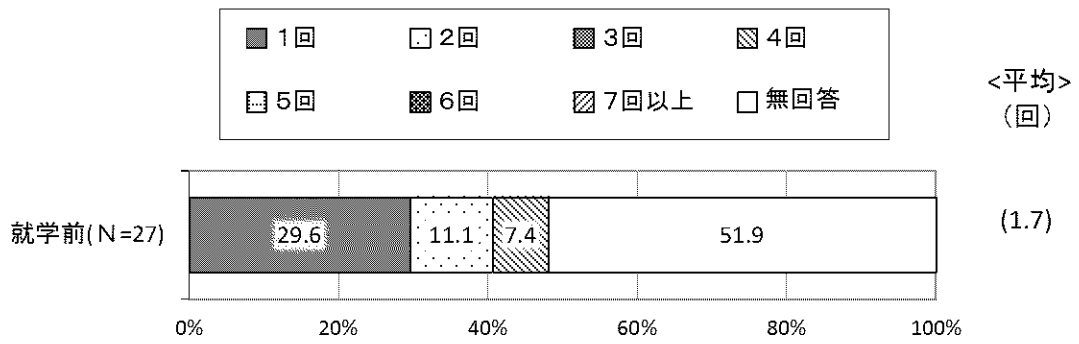
N=27



利用回数	就学前(N=27)	
	(人)	(%)
1回	7	25.9
2回	1	3.7
3回	0	0.0
4回	3	11.1
5回	0	0.0
6回	1	3.7
7回	0	0.0
無回答	15	55.6
計	27	100.0

■ 「その他鳥栖市内で実施している類似事業」の利用頻度（1ヶ月あたり）

N=27



利用回数	就学前(N=27)	
	(人)	(%)
1回	8	29.6
2回	3	11.1
3回	0	0.0
4回	2	7.4
5回	0	0.0
6回	0	0.0
7回以上	0	0.0
無回答	14	51.9
計	27	100.0

(3) 「地域子育て支援センター」(地域子育て支援拠点事業)の利用意向

就学前児童：問 18

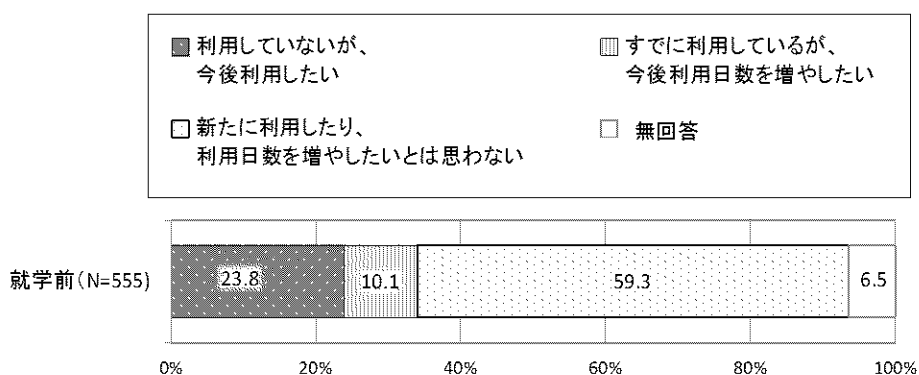
「地域子育て支援センター」(地域子育て支援拠点事業)の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」(59.3%)が最も多い回答になっています。

地域子育て支援センターをまだ利用していない人で、今後利用したいと考えている人の1週あたりの利用回数の意向としては、「1回」(31.8%)が最も多く、次いで「2回」(12.9%)となり、平均で1.4回となります。1ヶ月あたりの利用頻度の意向としては「1回」(27.3%)が最も多く、次いで「2回」(20.5%)、「3回」(11.4%)となり、平均で2.3回となります。

地域子育て支援センターを既に利用している人で、今後利用日数を増やしたいと考えている人の1週あたりの利用回数の意向としては、「1回」(30.4%)が最も多く、次いで「2回」(16.1%)となり、平均で1.9回となります。1ヶ月あたりの利用頻度の意向として、「2回」(12.5%)が最も多く、次いで「3回」(10.7%)となり、平均で3.3回となります。

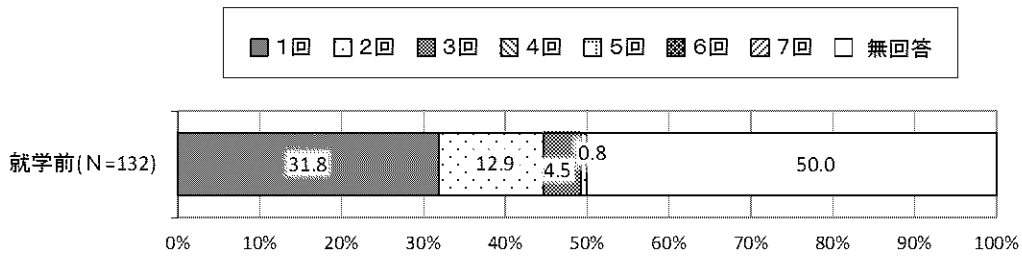
■ 地域子育て支援センターの利用意向

N=555



■ 未利用者の地域子育て支援センターの利用回数の意向（1週あたり）

N=132



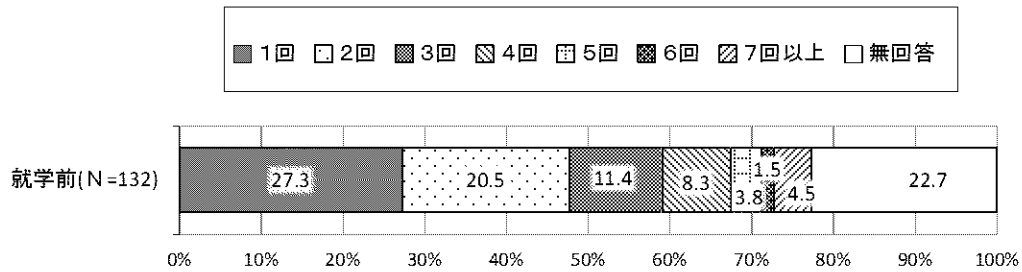
<平均>
(回)

(1.4)

就学前(N=132)		
利用回数	(人)	(%)
1回	42	31.8
2回	17	12.9
3回	6	4.5
4回	0	0.0
5回	1	0.8
6回	0	0.0
7回	0	0.0
無回答	66	50.0
計	132	100.0

■ 未利用者の地域子育て支援センターの利用回数の意向（1ヶ月あたり）

N=132



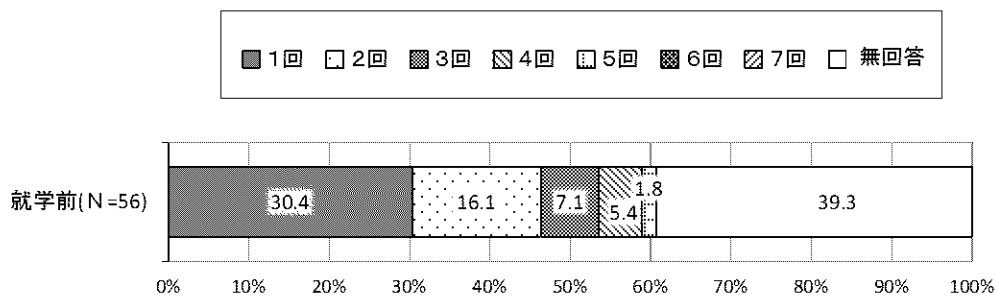
<平均>
(回)

(2.3)

就学前(N=132)		
利用回数	(人)	(%)
1回	36	27.3
2回	27	20.5
3回	15	11.4
4回	11	8.3
5回	5	3.8
6回	2	1.5
7回以上	6	4.5
無回答	30	22.7
計	132	100.0

■ 既利用者の地域子育て支援センターの追加利用回数の意向（1週あたり）

N=56



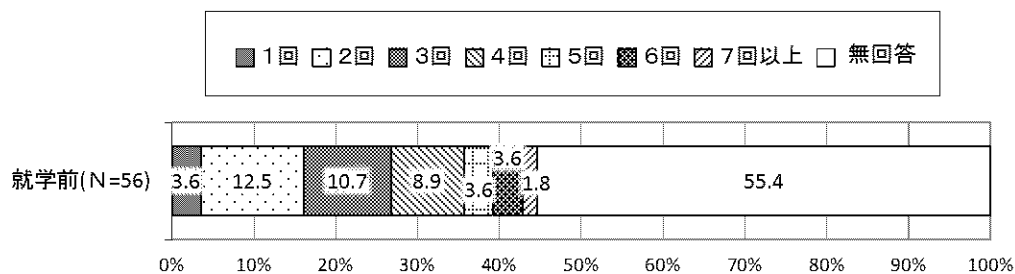
<平均>
(回)

(1.9)

就学前(N=56)		
利用回数	(人)	(%)
1回	17	30.4
2回	9	16.1
3回	4	7.1
4回	3	5.4
5回	1	1.8
6回	0	0.0
7回	0	0.0
無回答	22	39.3
計	56	100.0

■ 既利用者の地域子育て支援センターの追加利用回数の意向（1ヶ月あたり）

N=56



<平均>
(回)

(3.3)

就学前(N=56)		
利用回数	(人)	(%)
1回	2	3.6
2回	7	12.5
3回	6	10.7
4回	5	8.9
5回	2	3.6
6回	2	3.6
7回以上	1	1.8
無回答	31	55.4
計	56	100.0

(4) 地域の子育て支援事業

就学前児童：問 19

地域の子育て支援事業の認知度について多い順に、「保育所や幼稚園の園庭の開放」(88.5%)、「市が発行している子育て情報」(81.3%)、「子育て相談の窓口」(79.5%)となり、半数以上の人が市の子育て支援事業を知っていると回答していますが、「子育て相談MoriMori」の認知度は9.5%となっています。

利用の有無について、「市が発行している子育て情報」(55.1%)、「保育所や幼稚園の園庭開放」(46.7%)、「子育て支援センター出前ひろば」(32.1%)が高くなっています。

また、今後の利用意向について「市が発行している子育て情報」(66.7%)、「保育所や幼稚園の園庭開放」(53.7%)、「子育て相談の窓口」(49.5%)、「子育てサークル・お話サークル」(47.0%)と高くなっています。

■ 地域の子育て支援事業の認知度、利用の有無、利用意向

N=555

		A. 知っている			B. 利用したことがある			C. 今後利用したい		
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
構成人数 (人)	①体験保育&給食・離乳食試食	327	192	36	118	382	55	200	291	64
	②プレババママ保育園体験	233	289	33	38	455	62	71	424	60
	③一時預かり	405	114	36	91	409	55	227	266	62
	④子育て支援センター出前ひろば	312	201	42	178	326	51	228	260	67
	⑤子育て相談の窓口	441	78	36	155	345	55	275	219	61
	⑥子育て相談MoriMori	53	469	33	12	479	64	163	334	58
	⑦子育てサークル・お話サークル	309	204	42	114	378	63	261	232	62
	⑧保育所や幼稚園の園庭開放	491	26	38	259	248	48	298	190	67
	⑨市が発行している子育て情報	451	72	32	306	201	48	370	121	64
構成比率 (%)	①体験保育&給食・離乳食試食	58.9	34.6	6.5	21.3	68.8	9.9	36.0	52.4	11.5
	②プレババママ保育園体験	42.0	52.1	5.9	6.8	82.0	11.2	12.8	76.4	10.8
	③一時預かり	73.0	20.5	6.5	16.4	73.7	9.9	40.9	47.9	11.2
	④子育て支援センター出前ひろば	56.2	36.2	7.6	32.1	58.7	9.2	41.1	46.8	12.1
	⑤子育て相談の窓口	79.5	14.1	6.5	27.9	62.2	9.9	49.5	39.5	11.0
	⑥子育て相談MoriMori	9.5	84.5	5.9	2.2	86.3	11.5	29.4	60.2	10.5
	⑦子育てサークル・お話サークル	55.7	36.8	7.6	20.5	68.1	11.4	47.0	41.8	11.2
	⑧保育所や幼稚園の園庭開放	88.5	4.7	6.8	46.7	44.7	8.6	53.7	34.2	12.1
	⑨市が発行している子育て情報	81.3	13.0	5.8	55.1	36.2	8.6	66.7	21.8	11.5

7. 子どもの土日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

(1) 子どもの土曜日の、定期的な教育・保育の事業の利用意向

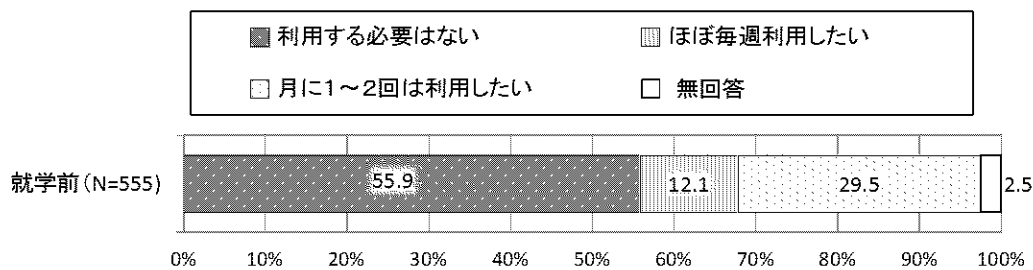
就学前児童：問 20（1）

土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用意向について「利用する必要はない」という回答が 55.9%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」（29.5%）、「ほぼ毎週利用したい」（12.1%）となっています。

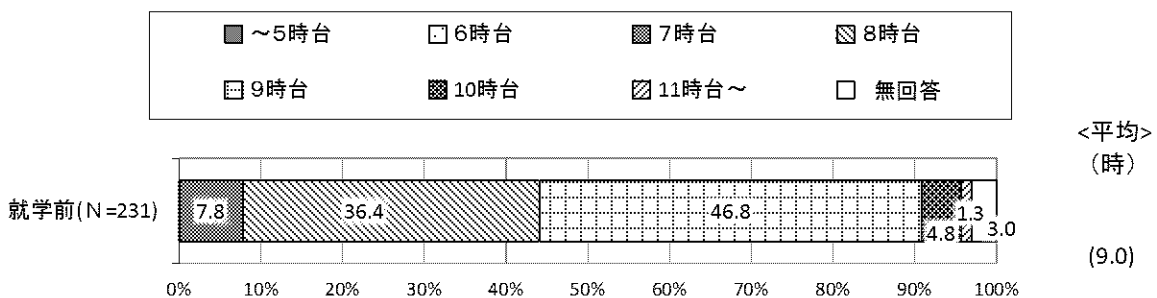
利用開始時間の意向については、「9時台」が 46.8%と最も多く、次いで「8時台」（36.4%）と続きます。8～9時台で 83.2%となり、7時台への意向も 7.8%あります。

利用終了時間の意向としては、「17時台」が 32.9%と最も多く、次いで「18時台」（27.3%）、15時台（11.3%）と続きます。

■ 土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用の意向 N=555



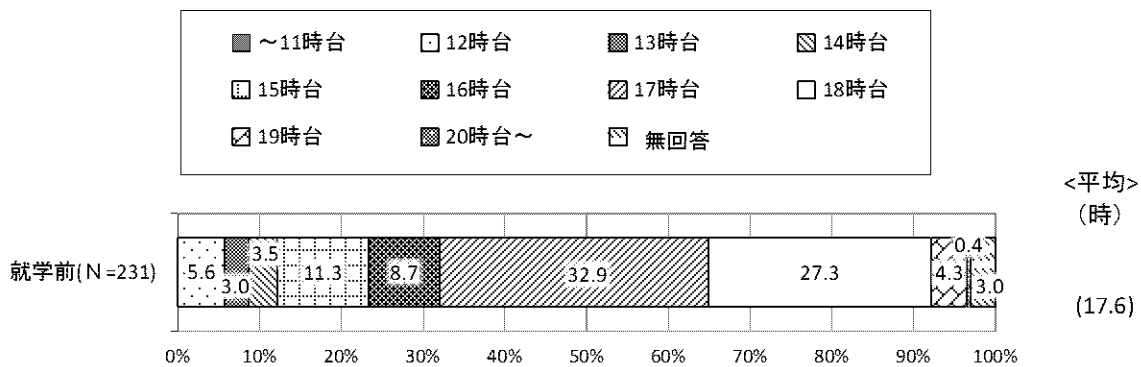
■ 土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用開始時間の意向 N=231



利用開始時間	就学前(N=231)	
	(人)	(%)
～5時台	0	0.0
6時台	0	0.0
7時台	18	7.8
8時台	84	36.4
9時台	108	46.8
10時台	11	4.8
11時台～	3	1.3
無回答	7	3.0
計	231	100.0

■ 土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用終了時間の意向

N=231



利用終了時間	就学前(N=231)	
	(人)	(%)
～11時台	0	0.0
12時台	13	5.6
13時台	7	3.0
14時台	8	3.5
15時台	26	11.3
16時台	20	8.7
17時台	76	32.9
18時台	63	27.3
19時台	10	4.3
20時台～	1	0.4
無回答	7	3.0
計	231	100.0

(2) 子どもの日曜日・祝日の、定期的な教育・保育の事業の利用意向

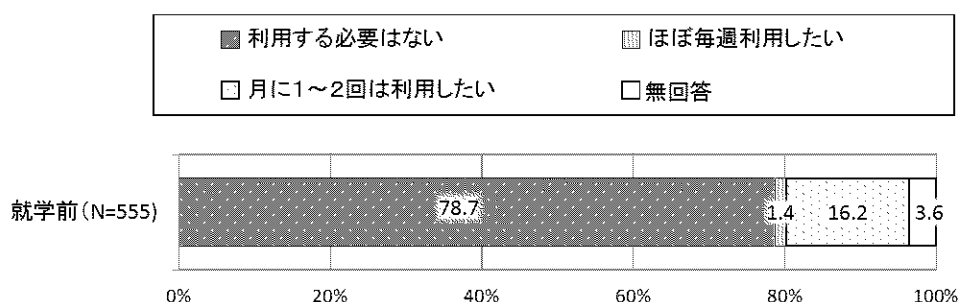
就学前児童：問 20（2）

日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用意向について「利用する必要はない」という回答が 78.7%と多く、次いで「月に1～2回は利用したい」（16.2%）、「ほぼ毎週利用したい」（1.4%）となっています。

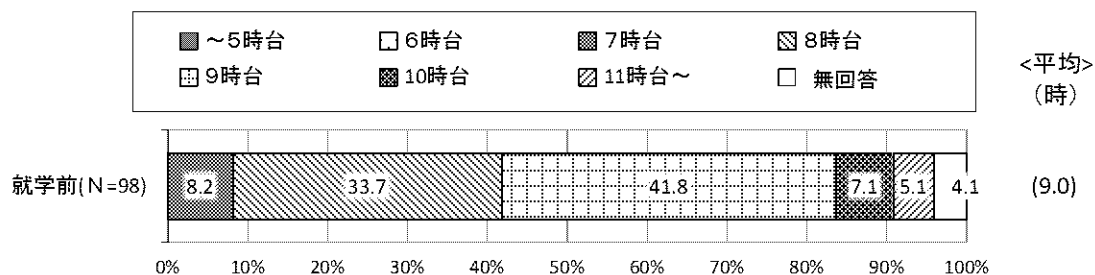
利用開始時間の意向については、「9時台」が 41.8%と最も多く、次いで「8時台」（33.7%）と続き、8～9時台で 75.5%となります。

利用終了時間の意向としては、「18時台」が 33.7%と最も多く、次いで「17時台」（25.5%）、15時台（11.2%）と続き、17～18時台で 59.2%となります。日曜日・祝日の利用終了時間は、土曜日より1時間長い18時を希望する人が多いことがうかがえます。

■ 日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用の意向 N=555



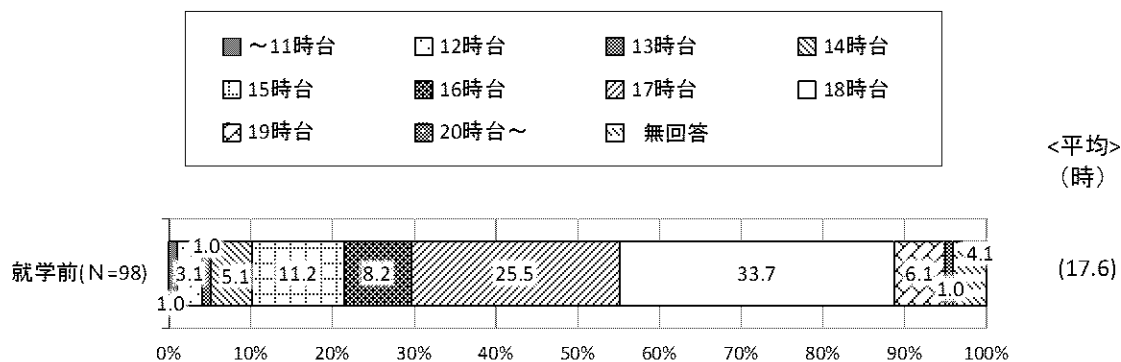
■ 日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用開始時間の意向 N=98



利用開始時間	就学前 (N=98)	
	(人)	(%)
～5時台	0	0.0
6時台	0	0.0
7時台	8	8.2
8時台	33	33.7
9時台	41	41.8
10時台	7	7.1
11時台～	5	5.1
無回答	4	4.1
計	98	100.0

■ 日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用終了時間の意向

N=98



利用終了時間	就学前(N=98)	
	(人)	(%)
~11時台	1	1.0
12時台	3	3.1
13時台	1	1.0
14時台	5	5.1
15時台	11	11.2
16時台	8	8.2
17時台	25	25.5
18時台	33	33.7
19時台	6	6.1
20時台~	1	1.0
無回答	4	4.1
計	98	100.0

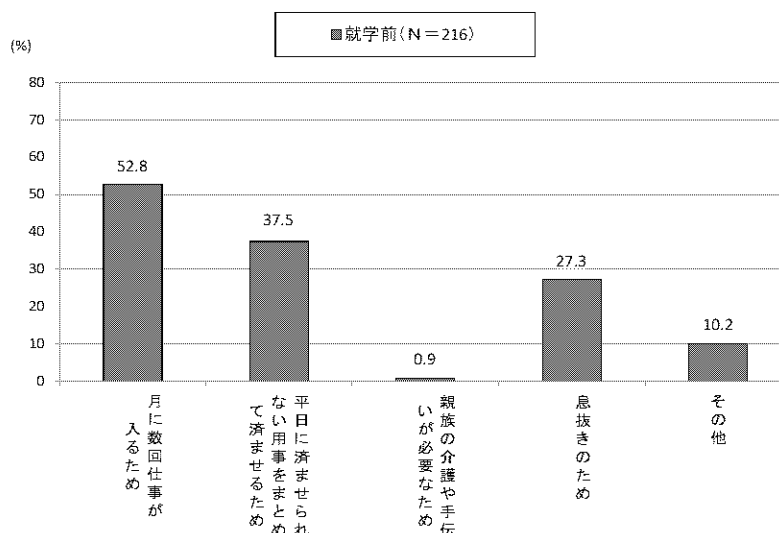
(3) 土曜日と日曜日・祝日に、教育・保育事業をたまに利用したい理由（複数回答）

就学前児童：問 20-1

土曜日と日曜日・祝日に、教育・保育事業をたまに利用したい理由として、「月に数回仕事が入るため」と回答した人が 52.8%と多く、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(37.5%)、「息抜きのため」(27.3%)と続きます。就労のために事業をたまに利用したいと考えている人が多いことが分かります。

■ 土曜日と日曜日・祝日に、教育・保育事業をたまに利用したい理由

N=178



(4) 幼稚園を利用している子どもの、長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用意向

就学前児童：問 21

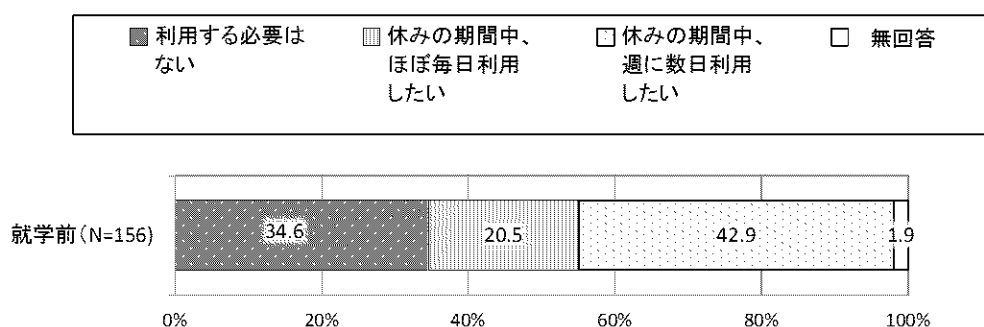
長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用意向については「休みの期間中、週に数日利用したい」という回答が 42.9%と最も多く、次いで「利用する必要はない」(34.6%)、「休みの期間中、週に数日利用したい」(20.5%)となっています。

利用開始時間の意向については、「8時台」が 47.6%と最も多く、次いで「9時台」(41.3%)と続き、8～9時台で 88.9%となります。

利用終了時間の意向としては、「17時台」(34.3%)が最も多く、次いで 15時台(25.3%)、18時台(16.2%)と続きます。

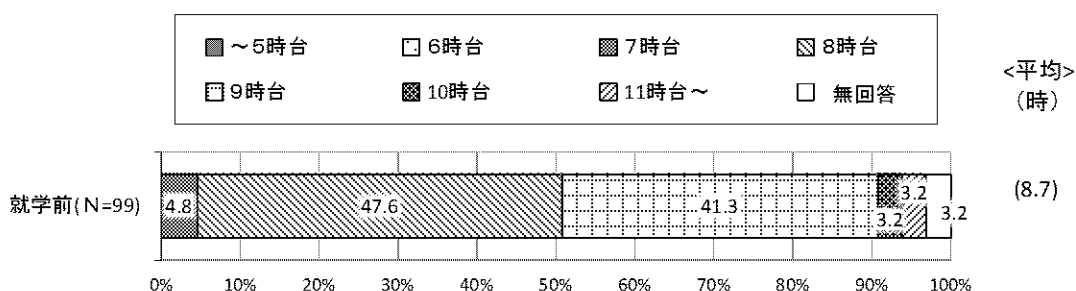
■ 長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用の意向

N = 156



■ 長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用開始時間の意向

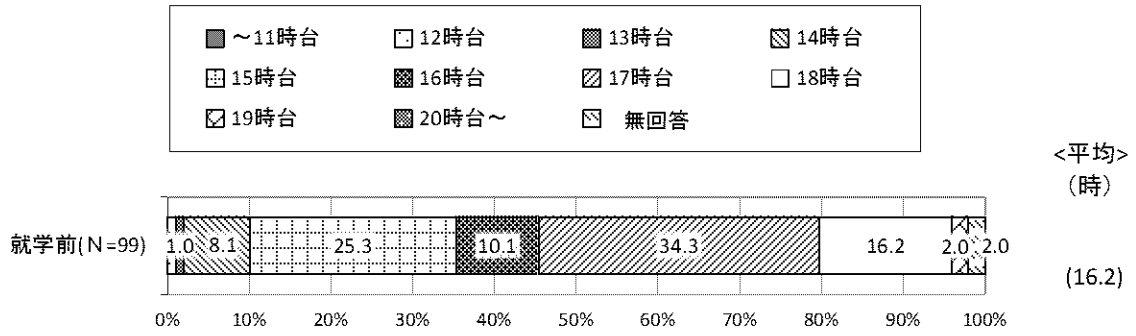
N = 99



利用開始時間	就学前(N=99)	
	(人)	(%)
～5時台	0	0.0
6時台	0	0.0
7時台	2	2.0
8時台	22	22.2
9時台	72	72.7
10時台	1	1.0
11時台～	0	0.0
無回答	2	2.0
計	99	100.0

■ 長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用終了時間の意向

N=99



利用終了時間	就学前(N=99)	
	(人)	(%)
～11時台	0	0.0
12時台	1	1.0
13時台	1	1.0
14時台	8	8.1
15時台	25	25.3
16時台	10	10.1
17時台	34	34.3
18時台	16	16.2
19時台	2	2.0
20時台～	0	0.0
無回答	2	2.0
計	99	100.0

(5) 幼稚園を利用する子どもの、教育・保育事業をたまに利用したい理由（複数回答）

就学前児童：問 21－1

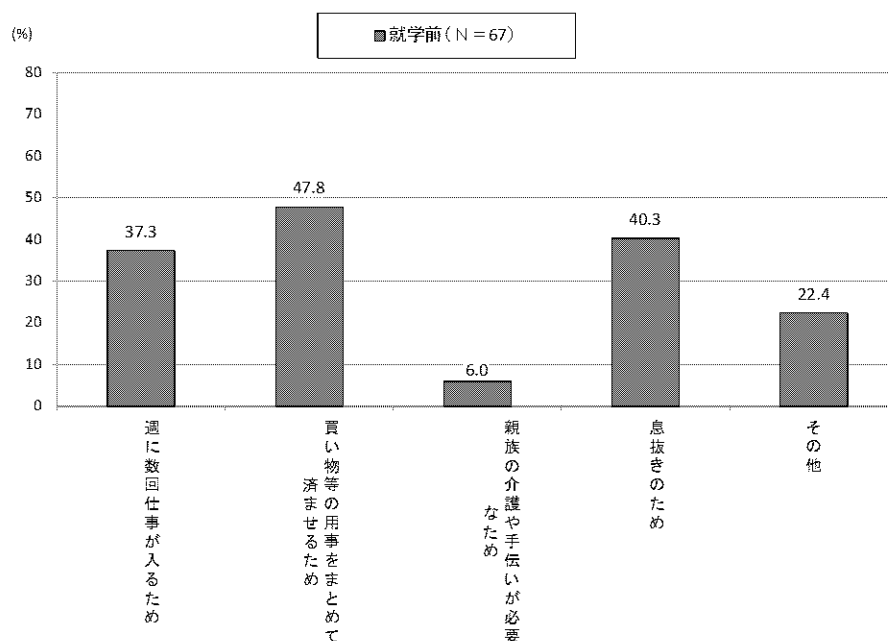
教育・保育事業をたまに利用したい理由として、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（47.8%）が多く、次いで「息抜きのため」（40.3%）、「週に数回仕事が入るため」（37.3%）となっています。

たまに利用したい理由として、就労だけではなく、用事や息抜きのために幼稚園を利用したいと考えている人が多いことが分かります。

また、その他（22.4%）について、「他に預ける所がないため、1人で長期子どもをみるのは大変」、「幼稚園での生活を忘れないために」、「子どもが毎日家で過ごすのは退屈だから」、「週に数日は親にみてもらえるため」、「子どもの希望」という回答もみられました。

■ 教育・保育事業をたまに利用したい理由

N=67



8. 子どもの病気の際の対応（平日の教育・保育の利用者のみ）

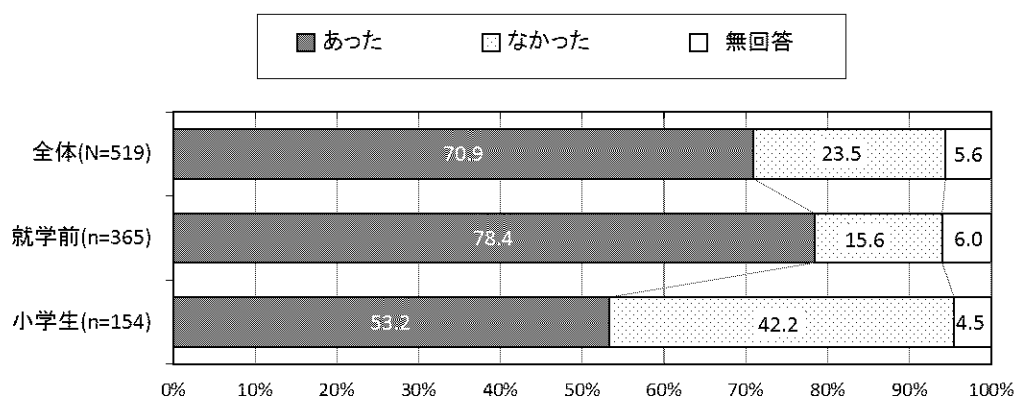
（1）子どもの病気やケガの時の、平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況

就学前児童：問 22、小学生児童：問 19

病気やケガの時に、平日の定期的な教育・保育の事業を利用できなかった経験があったと回答した人は回答全体の70.9%みられ、就学前児童と小学生児童を比較すると、就学前児童で78.4%とその傾向は高くなっています。

■ 教育・保育の事業が利用できなかった経験

N = 519



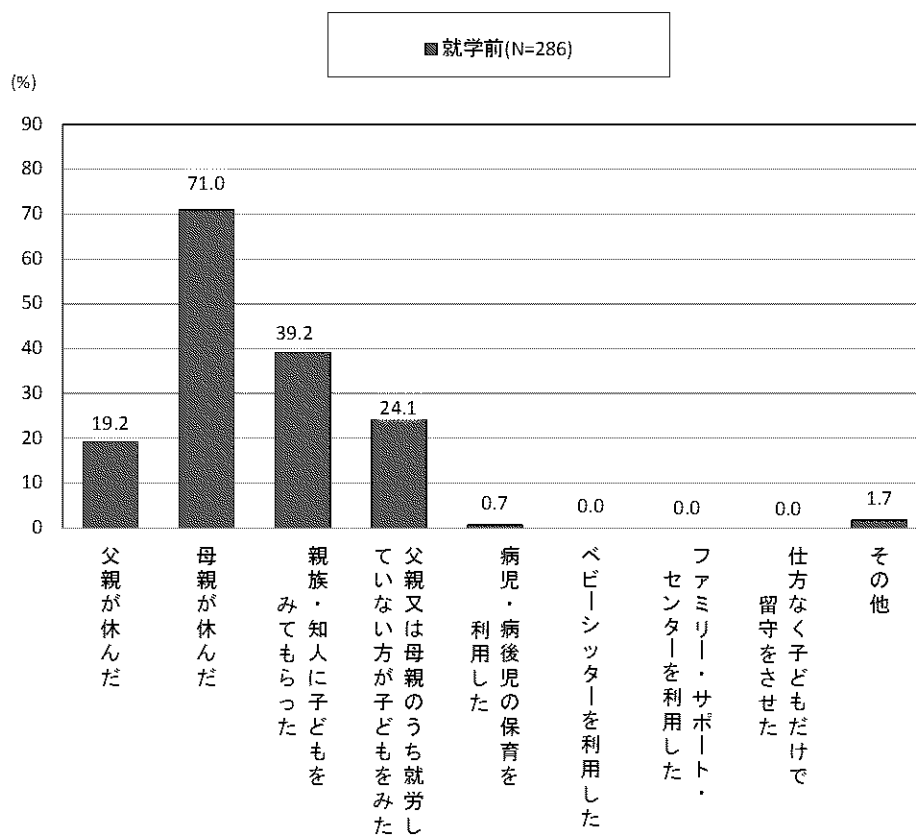
(2) 子どもの病気やケガの時の、通常の事業が利用できない場合の対処方法（複数回答）

就学前児童：問 22-1、小学生児童：問 19-1

通常の事業が利用できない場合の対処方法としては、就学前児童、小学生児童ともに「母親が休んだ」が最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」と続きます。

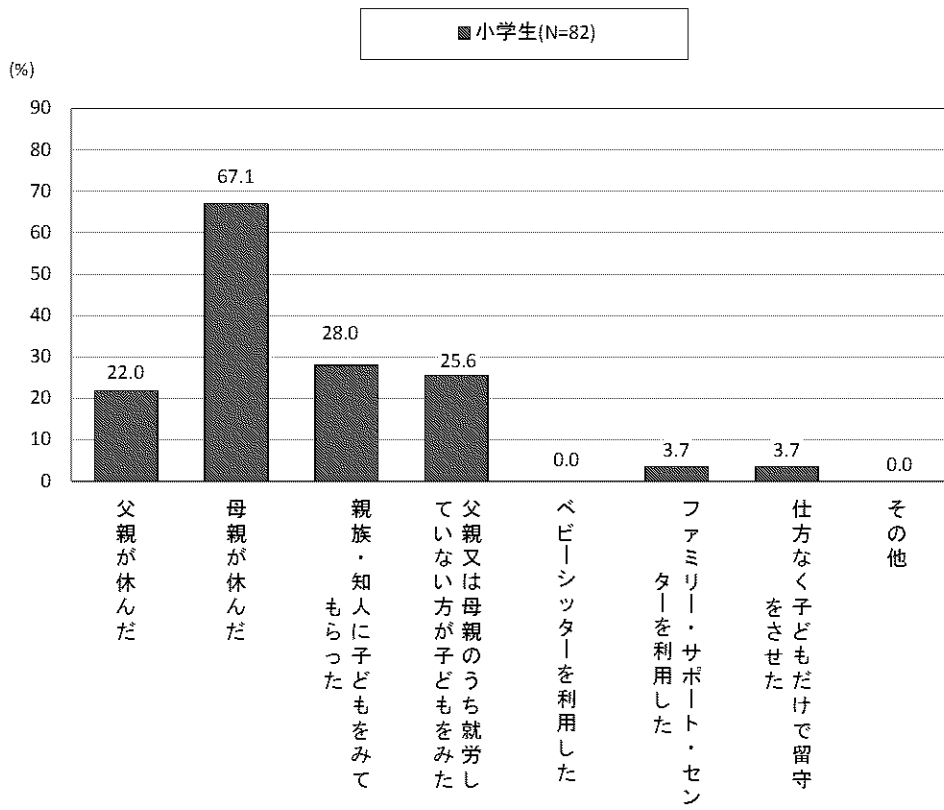
小学生児童では、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」や「ファミリー・サポート・センターを利用した」という回答がそれぞれ 3.7%みられます。

■ 通常の事業が利用できない場合の過去 1 年間の対処方法（就学前児童） N=286



■ 通常の事業が利用できない場合の過去1年間の対処方法（小学生児童）

N=82



(3) 通常の事業が利用できない場合の対処方法の年間日数

就学前児童：問 22-1、小学生児童：問 19-1

対処方法の年間日数については、就学前児童では「親族・知人に子どもをみてもらった」で平均 9.3 日、「母親が休んだ」(9.0 日)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(8.4 日)となっています。また、小学生児童では「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」で平均 9.3 日、「母親が休んだ」で 6.4 日となります。

■ 通常の事業が利用できない場合の対処方法の年間日数（過去 1 年間）（就学前児童）

N=286

対処方法	実数(人)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
父親が休んだ	55	44	5	3	0	0	0	0	3	6.1
母親が休んだ	203	109	51	13	9	9	1	1	10	9.0
親族・知人に子どもをみてもらった	112	56	29	6	9	5	0	1	6	9.3
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	69	27	24	4	0	2	0	2	10	8.4
病児・病後児の保育を利用した	2	2	0	0	0	0	0	0	0	5.0
ベビーシッターを利用した	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
仕方なく子どもだけで留守をさせた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	5	2	2	0	0	0	0	0	1	7.5
対処方法	構成比(%)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
父親が休んだ	19.2	80.0	9.1	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	
母親が休んだ	71.0	53.7	25.1	6.4	4.4	4.4	0.5	0.5	4.9	
親族・知人に子どもをみてもらった	39.2	50.0	25.9	5.4	8.0	4.5	0.0	0.9	5.4	
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	24.1	39.1	34.8	5.8	0.0	2.9	0.0	2.9	14.5	
病児・病後児の保育を利用した	0.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ベビーシッターを利用した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ファミリー・サポート・センターを利用した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
仕方なく子どもだけで留守をさせた	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	1.7	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	

■ 通常の事業が利用できない場合の対処方法の年間日数（過去 1 年間）（小学生児童）

N=82

対処方法	実数(人)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
父親が休んだ	18	14	3	0	0	0	0	0	1	5.9
母親が休んだ	55	43	7	0	1	1	0	0	3	6.4
親族・知人に子どもをみてもらった	23	19	3	0	0	0	0	0	1	5.7
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	21	11	7	0	2	1	0	0	0	9.3
ベビーシッターを利用した	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
仕方なく子どもだけで留守をさせた	3	3	0	0	0	0	0	0	0	5.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
対処方法	構成比(%)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
父親が休んだ	22.0	77.8	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	
母親が休んだ	67.1	78.2	12.7	0.0	1.8	9.1	0.0	0.0	5.5	
親族・知人に子どもをみてもらった	28.0	82.6	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	25.6	52.4	33.3	0.0	9.5	9.1	0.0	0.0	0.0	
ベビーシッターを利用した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ファミリー・サポート・センターを利用した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
仕方なく子どもだけで留守をさせた	3.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(4) 病児・病後児保育事業の利用意向

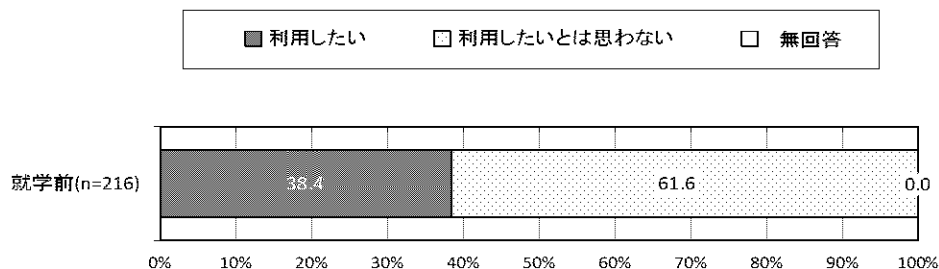
就学前児童：問 22-2

病児・病後児保育事業の利用意向については、「利用したいとは思わない」が 61.6%みられるものの、「利用したい」という回答も 38.4%あります。

利用日数の意向については、1～5日が多く、次いで6～10日(21.7%)となり、平均で7.6日となっています。

■ 病児・病後児保育事業の利用意向

N=216



■ 病児・病後児保育事業の年間利用日数の意向

N=83

希望日数	実数(人)								平均(日)
	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～25日	26～30日	31日以上	無回答	
就学前(n=83)	48	18	0	1	0	3	0	13	7.6
希望日数	構成比(%)								平均(日)
	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～25日	26～30日	31日以上	無回答	
就学前(n=83)	57.8	21.7	0.0	1.2	0.0	3.6	0.0	15.7	

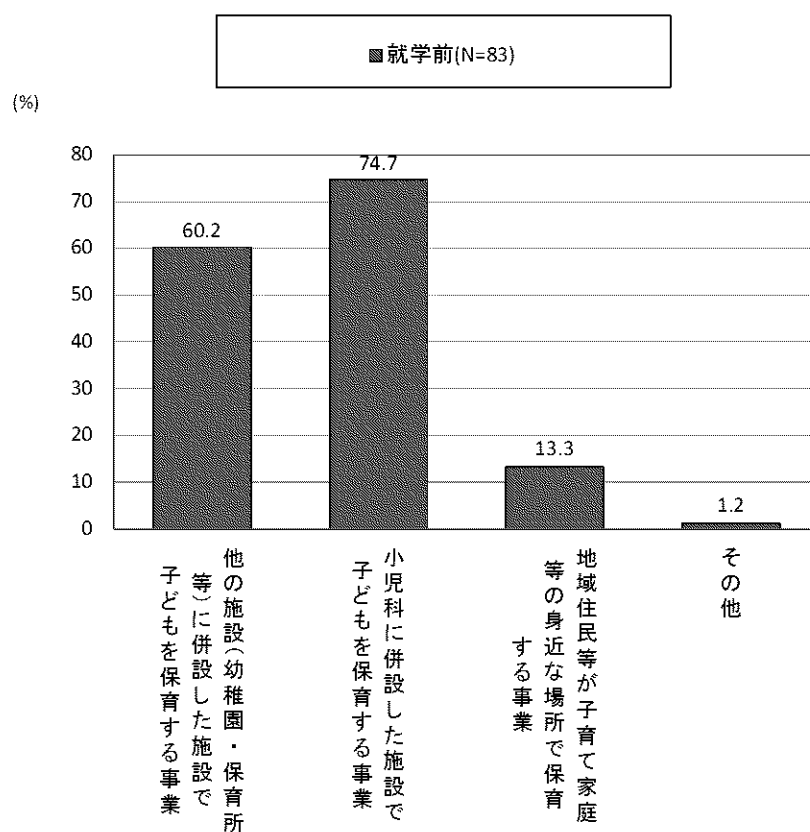
(5) 病児・病後児保育事業の望ましい事業形態（複数回答）

就学前児童：問 22－3

病児・病後児保育事業の望ましい事業形態としては、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が74.7%と最も多く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」（60.2%）、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」（13.3%）となっています。病児・病後児にとって医療機関に併設した施設の方が、より安心して預けられるという保護者の思いがあることが推察されます。

■ 病児・病後児保育事業の望ましい事業形態

N=83



(6) 病児・病後児保育事業を利用したいと思わない理由（複数回答）

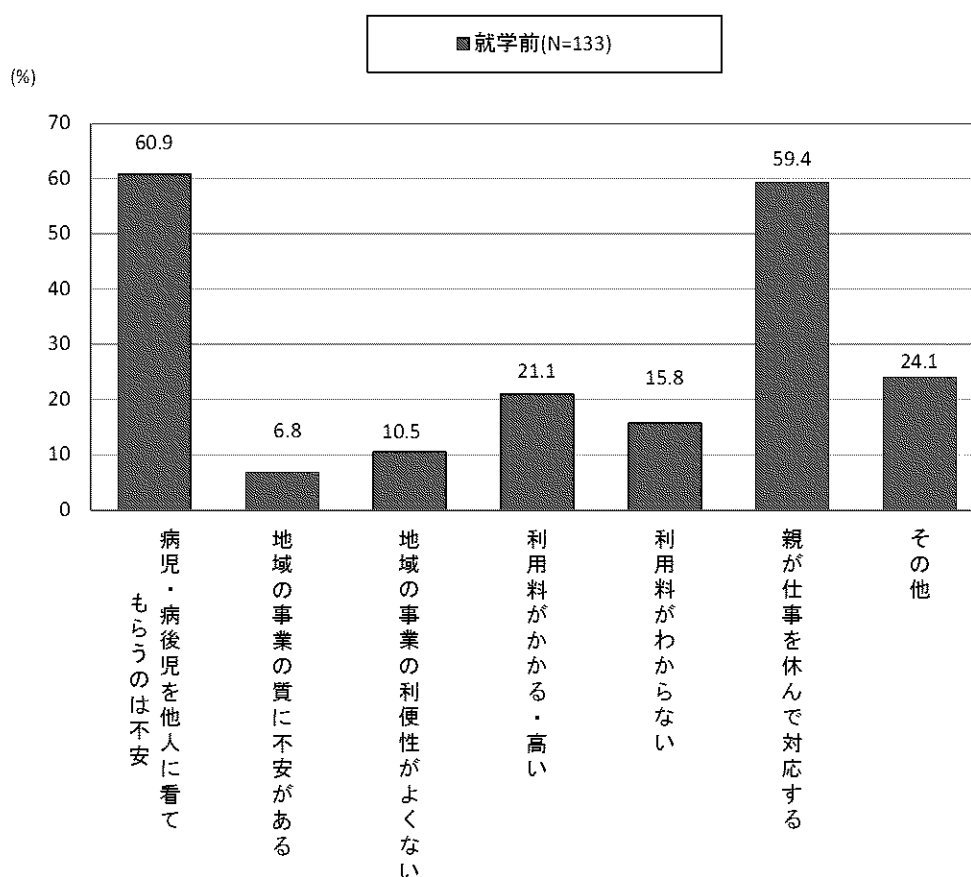
就学前児童：問 22－4

病児・病後児保育事業を利用したいと思わない理由としては、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」が 60.9%と最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」(59.4%)となっています。また、「利用料がかかる・高い」や「利用料がわからない」といった、利用料に関する理由もみられ、病児・病後児保育事業の内容について周知する必要があると考えられます。

また、その他 (24.1%) について「子どもがかわいそう」、「祖父母が対応する」、「病気の時くらい子どもと一緒にいてあげたい」という回答がみられます。

■ 病児・病後児保育事業を利用したいと思わない理由

N = 133



(7) 子どもの病気やケガの時に、父母が仕事を休んで看ることへの意向

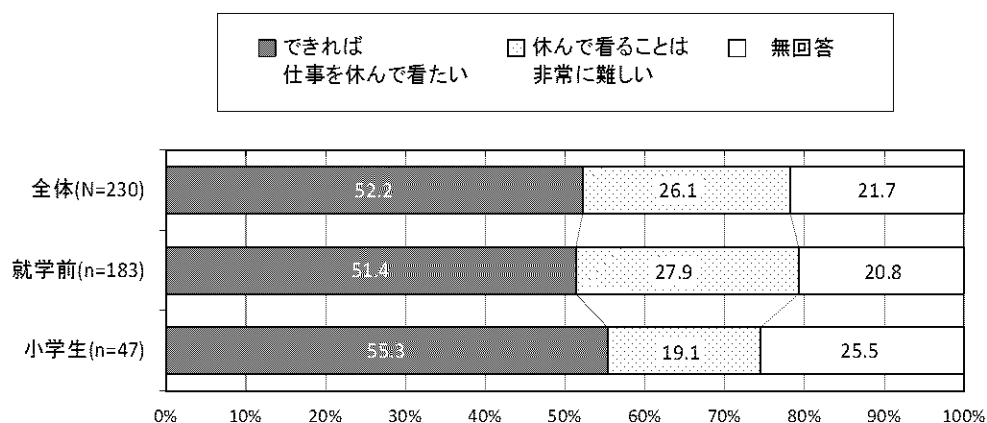
就学前児童：問 22-5、小学生児童：問 19-2

父母が仕事を休んで看ることについて、「できれば仕事を休んで看たい」が 52.2%と多く、就学前児童と小学生児童を比較すると、小学生児童では 55.3%と就学前児童より高くなっています。

父母が仕事を休んで看る日数については、「1～5日」が 53.8%と多く、次いで「6～10日」(15.4%)となっています。就学前児童では平均 7.7日、小学生児童では 4.2日、31日以上という回答が小学生児童で 2.6%みられます。

■ 父母が仕事を休んで看ることへの意向

N = 230



■ 父母が仕事を休んで看る日数の意向

N = 130

希望日数	実数(人)								平均(日)
	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～25日	26～30日	31日以上	無回答	
全体(N=130)	70	20	2	3	0	1	1	23	6.6
就学前(n=92)	47	20	2	3	0	1	0	20	7.7
小学生(n=38)	23	0	0	0	0	0	1	3	4.2
希望日数	構成比(%)								平均(日)
	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	26～30日	31日以上	無回答	
全体(N=130)	53.8	15.4	1.5	2.3	0.0	0.8	0.8	17.7	/
就学前(n=92)	51.1	21.7	2.2	3.3	0.0	1.1	0.0	21.7	
小学生(n=38)	60.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	7.9	

(8) 子どもの病気やケガの時に、仕事を休んで看ることは非常に難しい理由（複数回答）

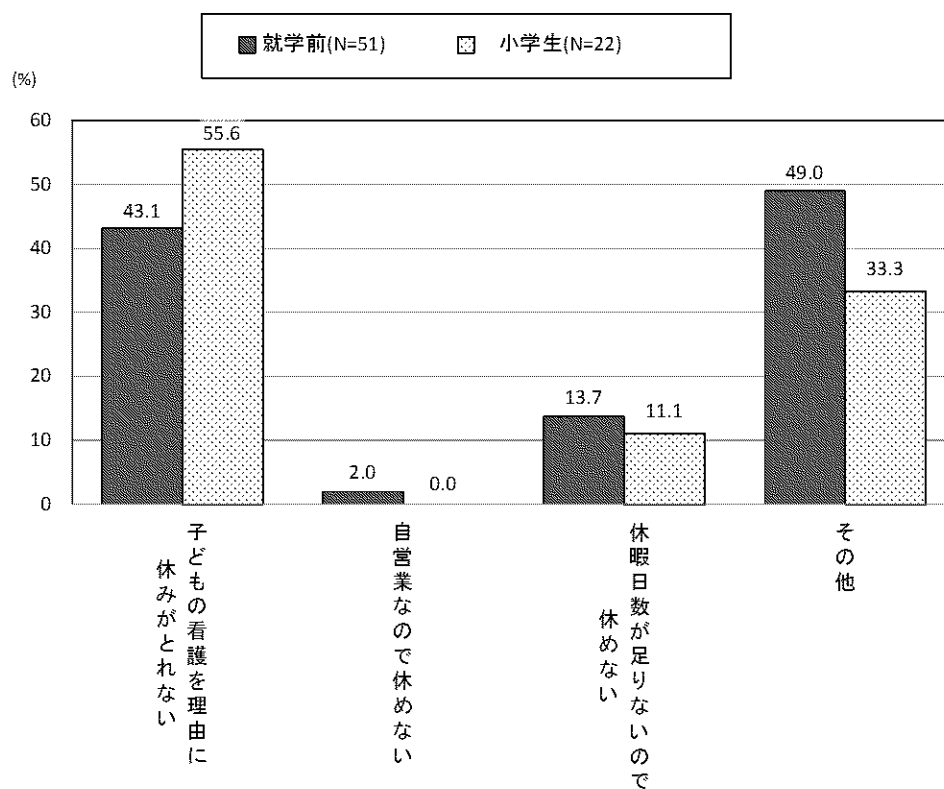
就学前児童：問 22－6、小学生児童：問 19－3

仕事を休んで看ることは非常に難しい理由としては、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が多く、小学生児童（55.6%）の方が高い傾向にあります。その他を除き、「休暇日数が足りないので休めない」、「自営業なので休めない」については、就学前児童の割合は小学生児童よりも高くなっています。

また、その他について、就学前児童（49.0%）では「忙しい時には他の人達に迷惑をかけるので休みにくい」、「仕事が終わらない」、「勤務の都合上、休めない日がある」、「仕事をしていないものが家にいるので」などの回答があり、小学生児童（33.3%）についても「配偶者が就労していないので必要ない」、「職場に迷惑をかけられないから」といった回答がみられました。

■ 仕事を休んで看ることは非常に難しい理由

N=73



9. 子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況

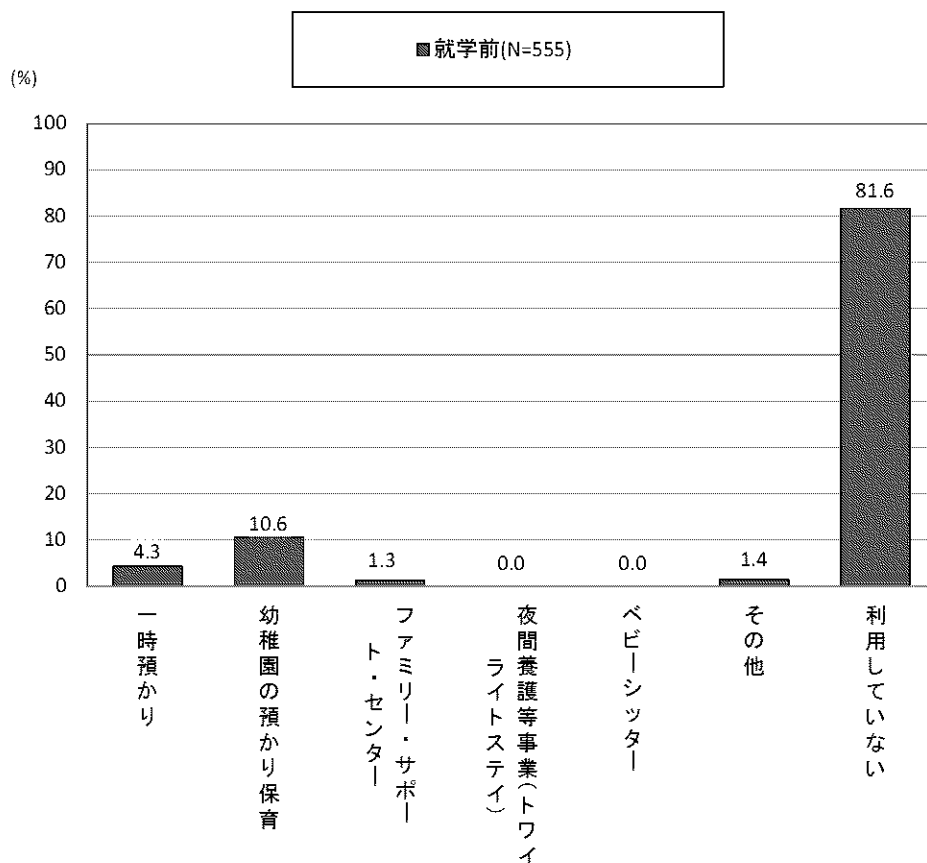
(1) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業（複数回答）

就学前児童：問 23、小学生児童：問 20

不定期に利用している事業については、就学前児童、小学生児童ともに「利用していない」人が半数以上を占めてるものの、就学前児童では「幼稚園の預かり保育」(10.6%)や「一時預かり」(4.3%)の利用もみられます。また、小学生児童では「ファミリー・サポート・センター」や「一時預かり」の利用もそれぞれ1.9%みられます。

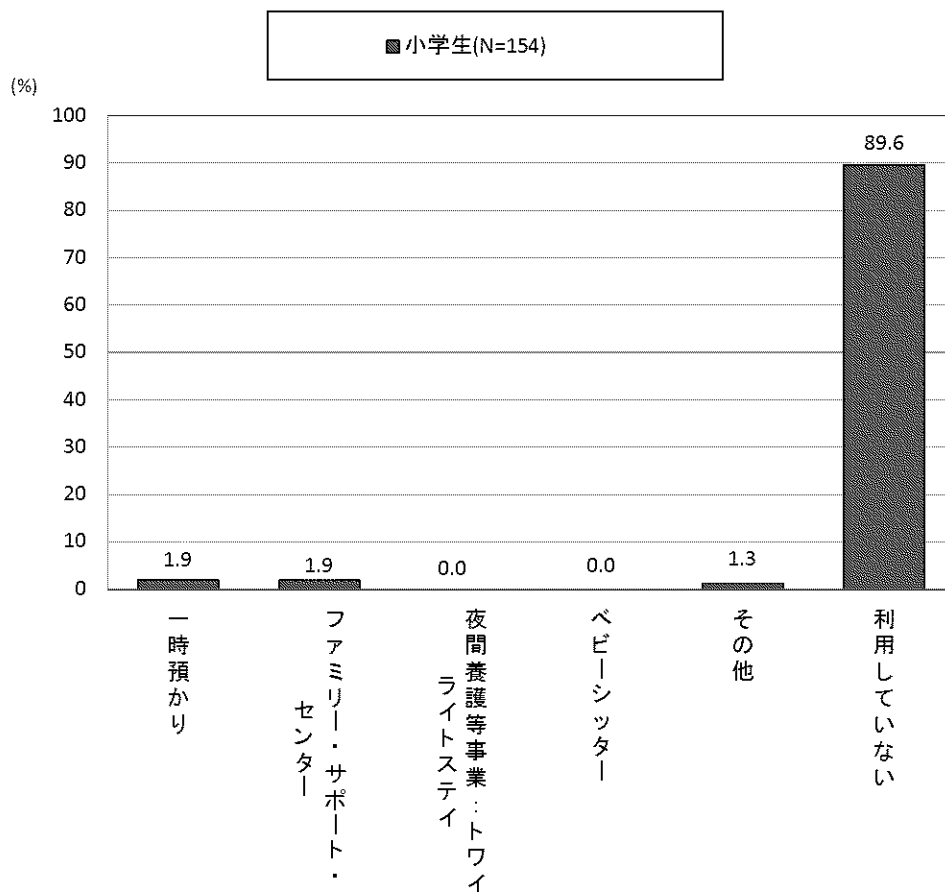
■ 不定期に利用している事業（過去1年間）（就学前児童）

N=555



■ 不定期に利用している事業（過去1年間）（小学生児童）

N = 154



(2) 不定期に利用している事業の年間利用日数

就学前児童：問 23、小学生児童：問 20

年間利用日数については、就学前児童で「一時預かり」が平均 18.6 日、「幼稚園の預かり保育」が 12.9 日となっています。また、「ファミリー・サポート・センター」は回答数は少ないものの 5.7 日の利用がみられます。小学生児童では、回答数は少ないものの「一時預かり」で 10.0 日、「ファミリー・サポート・センター」で 15.0 日の利用があります。

■ 不定期に利用している事業の年間利用日数（過去 1 年間）（就学前児童）

N=555

利用している事業	実数(人)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
一時預かり	24	8	6	2	0	1	1	6	0	18.6
幼稚園の預かり保育	59	20	18	6	2	4	0	4	5	12.9
ファミリー・サポート・センター	7	6	1	0	0	0	0	0	0	5.7
夜間養護等事業：トワイライトステイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
ベビーシッター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	8	0	1	0	0	2	0	1	4	27.8
利用している事業	構成比(%)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
一時預かり	4.3	33.3	25.0	8.3	0.0	4.2	4.2	25.0	0.0	
幼稚園の預かり保育	10.6	33.9	30.5	10.2	3.4	6.8	0.0	6.8	8.5	
ファミリー・サポート・センター	1.3	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
夜間養護等事業：トワイライトステイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ベビーシッター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	1.4	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	50.0	

■ 不定期に利用している事業の年間利用日数（過去 1 年間）（小学生児童）

N=154

利用している事業	実数(人)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
一時預かり	3	0	1	0	0	0	0	0	2	10.0
ファミリー・サポート・センター	3	1	1	0	0	1	0	0	0	15.0
夜間養護等事業：トワイライトステイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
ベビーシッター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	3	0	0	0	0	0	1	0	2	40.0
利用している事業	構成比(%)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
一時預かり	1.9	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	
ファミリー・サポート・センター	1.9	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	
夜間養護等事業：トワイライトステイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ベビーシッター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	

(3) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期の事業を利用していない理由

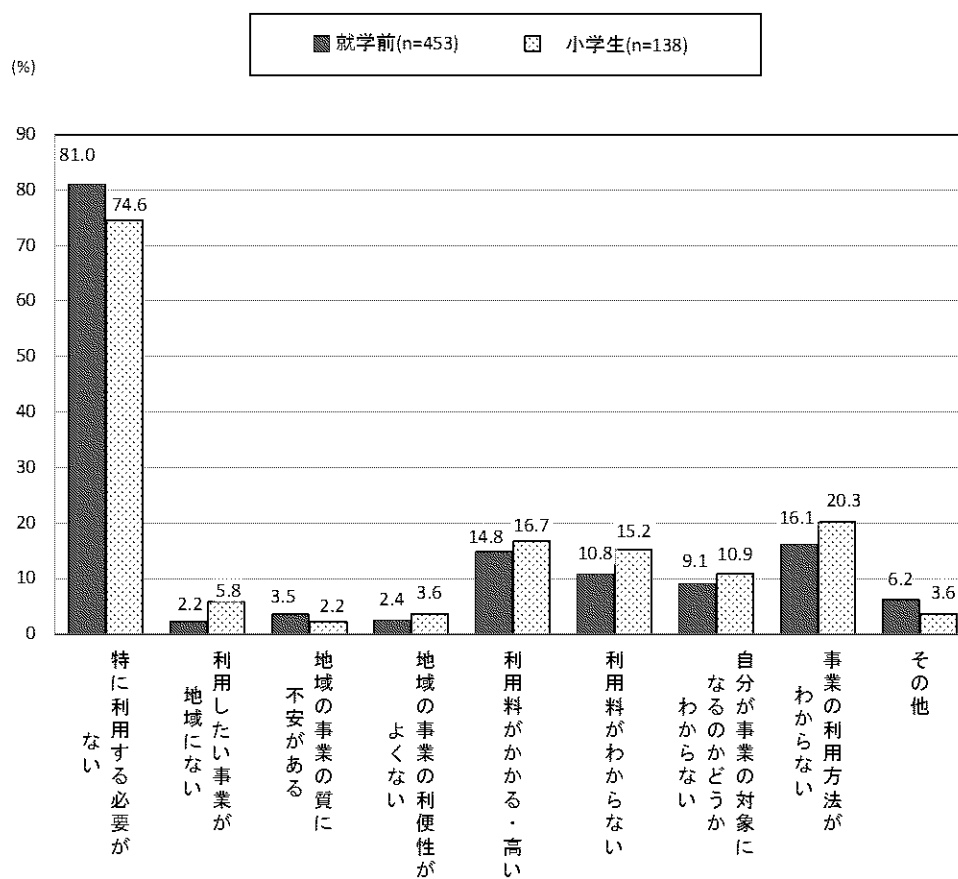
(複数回答)

就学前児童：問 23-1、小学生児童：問 20-1

不定期の事業を利用していない理由としては、就学前児童、小学生児童ともに「特に利用する必要がない」が最も多くなっており、次いで「事業の利用方法がわからない」、「利用料がかかる・高い」といった回答となっています。利用料や事業の利用方法、自分が事業の対象になるのがわからないということから、事業の内容について周知を深めることができた場合、利用する人が今後増えてくる可能性があることが推察されます。

■ 不定期の事業を利用していない理由

N=591



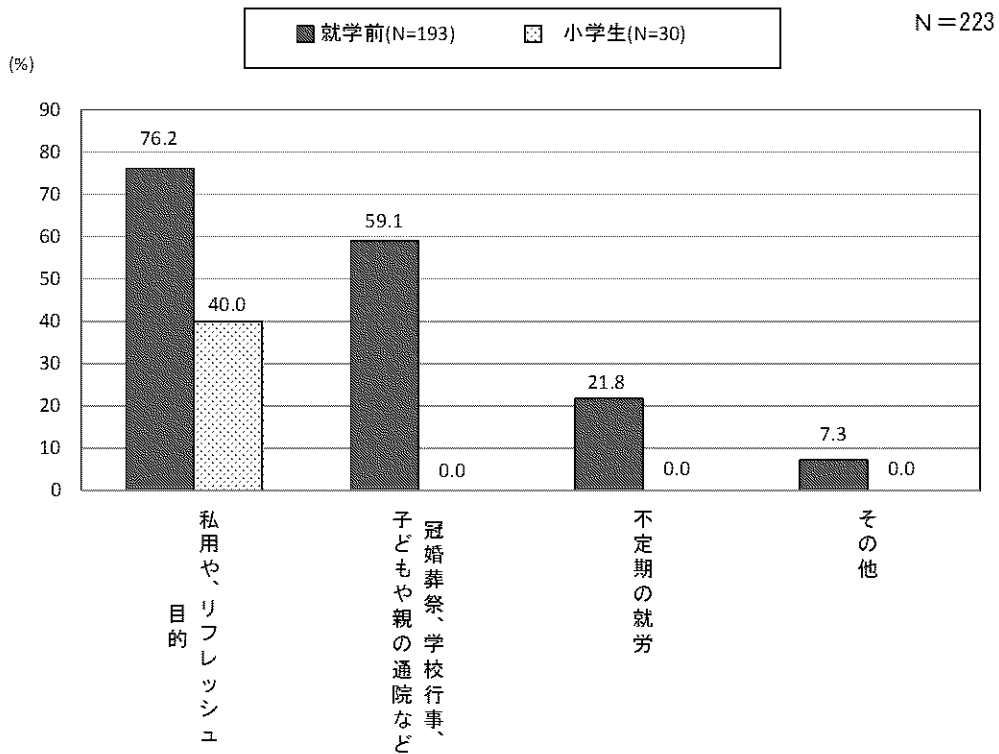
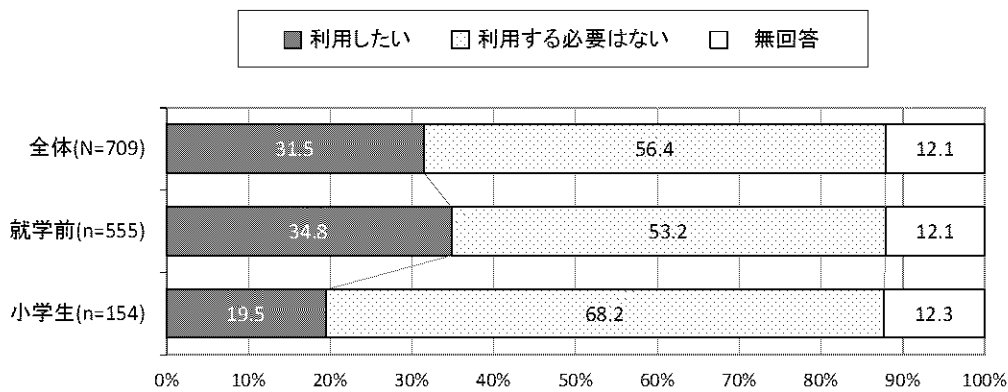
(4) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、利用の必要がある事業（複数回答）

就学前児童：問 24、小学生児童：問 21

利用の必要がある事業の意向として、31.5%の人が「利用したい」と回答しており、56.4%の人が「利用する必要はない」と回答しています。

利用する目的については、就学前児童、小学生児童ともに「私用やリフレッシュ目的」が最も高く、就学前児童では次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」(59.1%)、「不定期の就労」(21.8%)と続きます。冠婚葬祭だけではなく、保護者自身が自分の時間をもちたいと考えていることがうかがえます。

■ 利用の必要がある事業への意向とその目的 N=709



(5) 利用の必要がある事業の年間利用日数の意向

就学前児童：問 24、小学生児童：問 21

年間利用日数の意向について、就学前児童では、その他を除いて平均日数の高い順に「不
定期の就労」（平均 15.2 日）、「私用やリフレッシュ目的」（12.0 日）、「冠婚葬祭、学校行事、
子どもや親の通院など」（9.5 日）となります。

小学生児童では、就学前児童に比べ、回答数は少ないものの、「私用や、リフレッシュ目的」
で平均 5.8 日となっています。

■ 利用の必要がある事業の年間利用日数の意向（就学前児童）

N = 193

理由	実数(人)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
私用や、リフレッシュ目的	147	61	36	26	4	10	0	7	3	12.0
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	114	64	28	8	1	6	2	1	4	9.5
不定期の就労	42	13	9	7	1	4	0	4	5	15.2
その他	14	5	1	1	0	0	0	5	2	21.3
理由	構成比(%)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
私用や、リフレッシュ目的	76.2	41.5	24.5	17.7	2.7	6.8	0.0	4.8	2.0	
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	59.1	56.1	24.6	7.0	0.9	5.3	1.8	0.9	3.5	
不定期の就労	21.8	31.0	21.4	16.7	2.4	9.5	0.0	9.5	11.9	
その他	7.3	35.7	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	35.7	14.3	

■ 利用の必要がある事業の年間利用日数の意向（小学生児童）

N = 30

理由	実数(人)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
私用や、リフレッシュ目的	12	10	2	0	0	0	0	0	0	5.8
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
不定期の就労	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
理由	構成比(%)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
私用や、リフレッシュ目的	40.0	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
不定期の就労	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

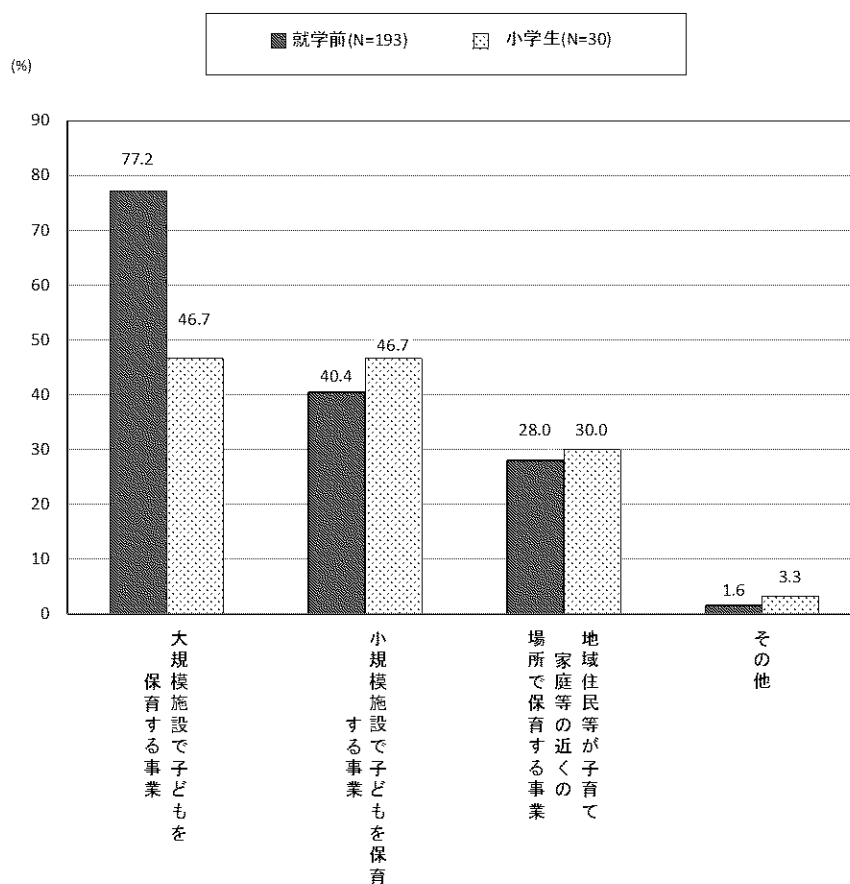
(6) 利用したい事業の望ましい事業形態（複数回答）

就学前児童：問 24－1、小学生児童：問 21－1

利用したい事業の望ましい事業形態として、就学前児童では「大規模施設で子どもを保育する事業」（77.2%）が最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」（40.4%）と続きます。小学生児童では「大規模施設で子どもを保育する事業」や「小規模施設で子どもを保育する事業」でそれぞれ 46.7%となっており、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」という回答は 30.0%と就学前児童よりもやや高くなっています。

■ 利用したい事業の望ましい事業形態

N=223



(7) 保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外に預けた経験（複数回答）

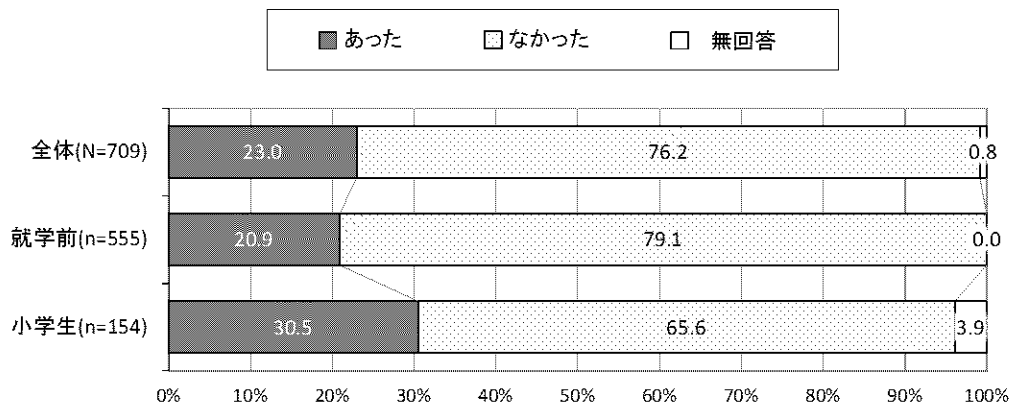
就学前児童：問 25、小学生児童：問 22

保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外に預けたと回答した人は 23.0%となっており、76.2%の人が預けなかったと回答しています。就学前児童よりも小学生児童の方が預けた経験があると回答した人は多くなっています。

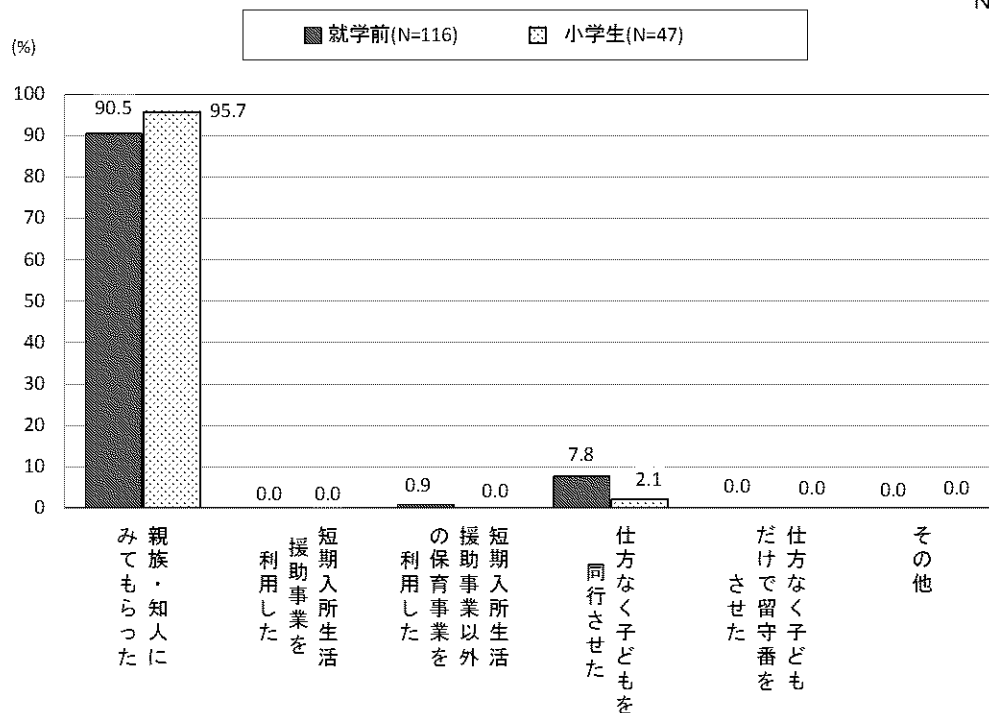
預け先としては、「親族・知人にみてもらった」が最も多くなっています。また、就学前児童では 7.8%、小学生児童では 2.1%の人が仕方なく子どもを同行させたという回答もみられます。

■ 泊まりがけで家族以外に預けた経験（過去 1 年間）

N = 709



N = 163



(8) 子どもを泊まりがけで家族以外の誰かに預けた年間泊数

就学前児童：問 25、小学生児童：問 22

泊まりがけで家族以外の誰かに預けた年間泊数としては、就学前児童では、「親族・知人にみてもらった」が平均 8.0 日となっています。小学生児童では、就学前児童よりも回答数は少ないものの「親族・知人にみてもらった」が平均 13.1 日となっており、31 日～40 日預けたという回答は就学前児童で 1.9%、小学生児童で 2.2%みられます。

■ 泊まりがけで家族以外に預けた年間泊数（過去 1 年間）（就学前児童）

N = 116

対処方法	実数(人)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
ア. 親族・知人にみてもらった	105	73	19	4	4	2	2	0	1	8.0
イ. 短期入所生活援助事業を利用した	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
ウ. イ以外の保育事業を利用した	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5.0
エ. 仕方なく子どもを同行させた	9	9	0	0	0	0	0	0	0	5.0
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
カ. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
対処方法	構成比(%)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
ア. 親族・知人にみてもらった	90.5	69.5	18.1	3.8	3.8	1.9	1.9	0.0	1.0	
イ. 短期入所生活援助事業を利用した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ウ. イ以外の保育事業を利用した	0.9	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エ. 仕方なく子どもを同行させた	7.8	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
カ. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

■ 泊まりがけで家族以外に預けた年間泊数（過去 1 年間）（小学生児童）

N = 32

対処方法	実数(人)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
ア. 親族・知人にみてもらった	45	4	1	1	1	0	1	0	37	13.1
イ. 短期入所生活援助事業を利用した	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
ウ. イ以外の保育事業を利用した	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
エ. 仕方なく子どもを同行させた	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1.0
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
カ. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
対処方法	構成比(%)									
	回答数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41日以上	無回答	平均(日)
ア. 親族・知人にみてもらった	95.7	8.9	2.2	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0	82.2	
イ. 短期入所生活援助事業を利用した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ウ. イ以外の保育事業を利用した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エ. 仕方なく子どもを同行させた	2.1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
カ. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

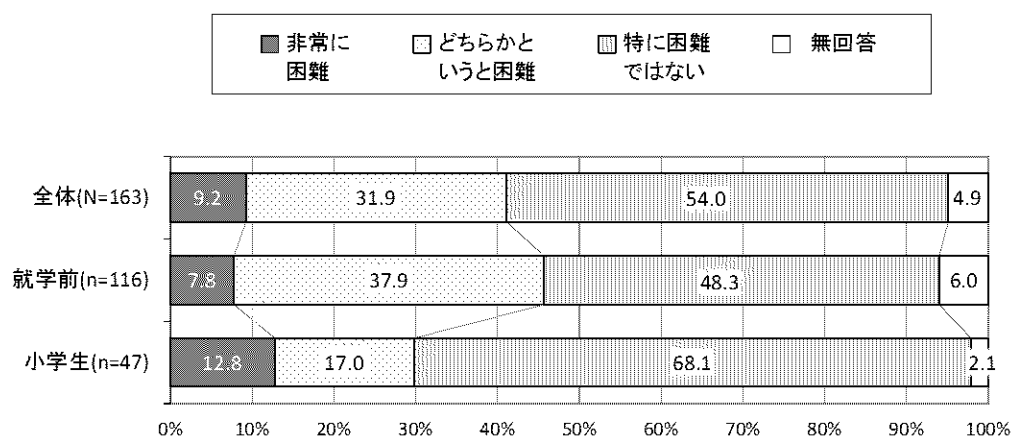
(9) 子どもを親族・知人に預けた場合の困難度

就学前児童：問 25－1、小学生児童：問 22－1

子どもを親族・知人に預けた場合の困難度については、「特に困難ではない」と回答した人は 54.0%で最も高く、次いで「どちらかという困難」(31.9%)、「非常に困難」(9.2%)と回答しています。就学前児童と小学生児童を比較すると「どちらかという困難」という回答が就学前児童の方が高くなり、小学生児童では「特に困難ではない」(68.1%)が多いですが、「非常に困難」(12.8%)という回答も高くなっています。親族や知人に預ける場合、小学生児童の方が困難さを感じる場合があることがうかがえます。

■ 親族・知人に預けた場合の困難性

N=163



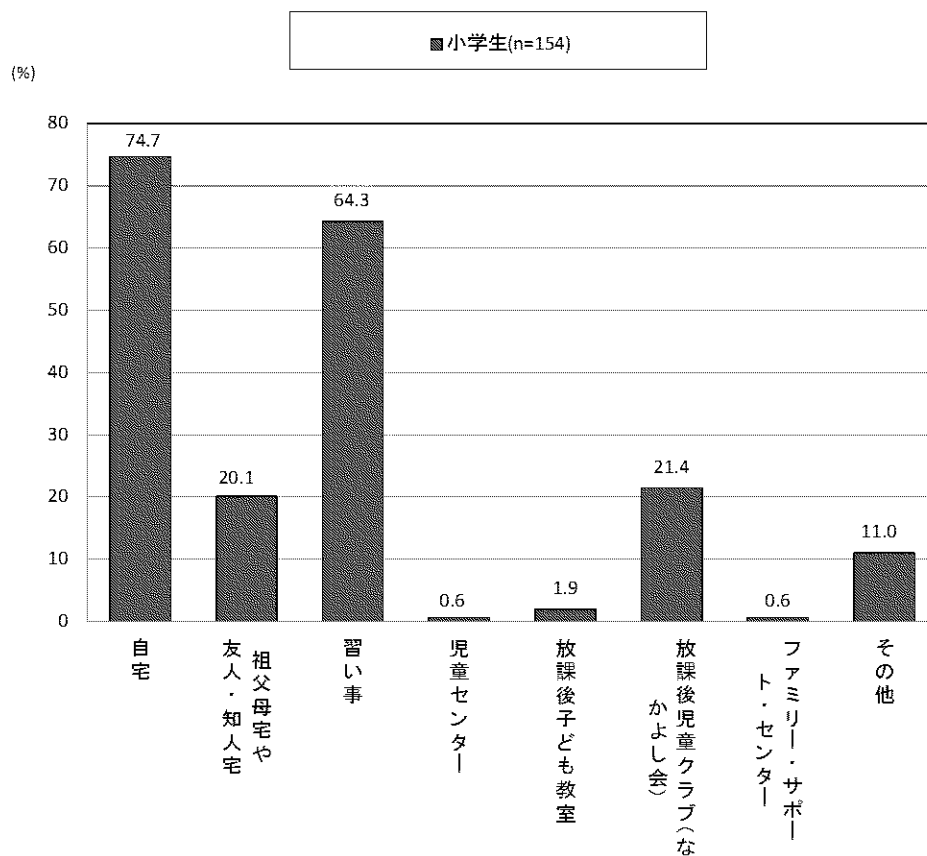
10. 子どもの放課後等の過ごし方

(1) 子どもが現在、放課後に過ごしている場所（複数回答）

小学生児童：問 15

現在、放課後の時間に過ごしている場所として、「自宅」（74.7%）が最も多く、「習い事」（64.3%）、「放課後児童クラブ（なかよし会）」（21.4%）と続きます。「児童センター」や「ファミリー・サポート・センター」という回答も 0.6%みられます。小学生児童では、習い事や自宅にて放課後の時間を過ごしていることが多いことが分かります。

■ 現在放課後の時間に過ごしている場所 N = 154



(2) 現在、放課後に過ごしている場所の週当たり利用日数

小学生児童：問 15

放課後に過ごしている場所の週当たり利用日数をみると、最も日数の多い過ごし方としては、回答数は1人と少ないものの「ファミリー・サポート・センター」が平均6.0日で、次いで「自宅」や「習い事」(5.3日)、「放課後児童クラブ(なかよし会)」(4.6日)、「放課後子ども教室」(4.0日)となっています。

■ 現在、放課後に過ごしている場所の週当たり利用日数

N=154

放課後の過ごし方	回答数	実数(人)								平均(日)
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
自宅	115	9	18	22	19	36	5	6	39	5.3
祖父母宅や友人・知人宅	31	15	6	3	3	4	0	0	123	2.2
習い事	99	32	27	23	10	6	1	0	55	5.3
児童センター	1	1	0	0	0	0	0	0	153	0.0
放課後子ども教室	3	0	1	0	0	2	0	0	152	4.0
放課後児童クラブ(なかよし会)	33	0	0	4	7	20	2	0	121	4.6
ファミリー・サポート・センター	1	0	0	0	0	0	1	0	153	6.0
その他	17	5	8	3	0	0	1	0	137	2.1
		構成比(%)								
放課後の過ごし方	回答数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均(日)
自宅	74.7	7.8	15.7	19.1	16.5	31.3	4.3	5.2	33.9	
祖父母宅や友人・知人宅	20.1	48.4	19.4	9.7	9.7	12.9	0.0	0.0	0.3	
習い事	64.3	32.3	27.3	23.2	10.1	6.1	1.0	0.0	55.6	
児童センター	0.6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
放課後子ども教室	1.9	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	2.0	
放課後児童クラブ(なかよし会)	21.4	0.0	0.0	12.1	21.2	60.6	6.1	0.0	27.3	
ファミリー・サポート・センター	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.7	
その他	11.0	29.4	47.1	17.6	0.0	0.0	5.9	0.0	12.4	

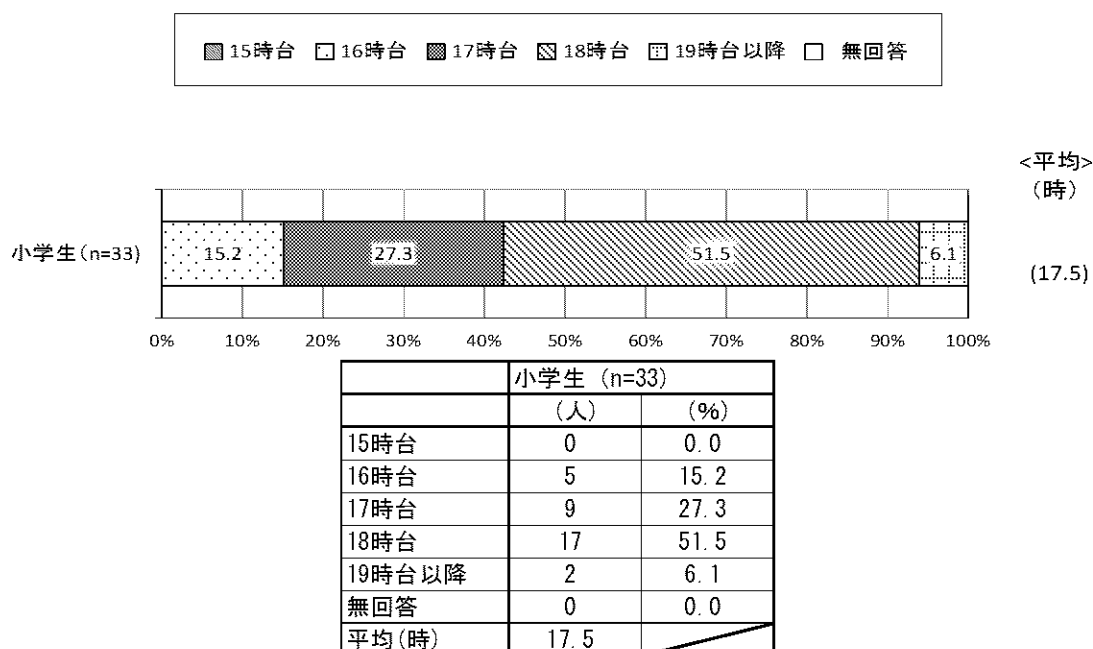
(3) 現在、放課後に過ごしている放課後児童クラブ(なかよし会)の利用時間帯

小学生児童：問 15

現在、放課後児童クラブの利用時間について、18時台が51.5%と最も高く、次いで「17時台」(27.3%)、「16時台」(15.2%)となっています。約半数の人が18時台まで利用している状況にあります。

■ 現在、放課後に過ごしている放課後児童クラブの利用時間帯

N=33



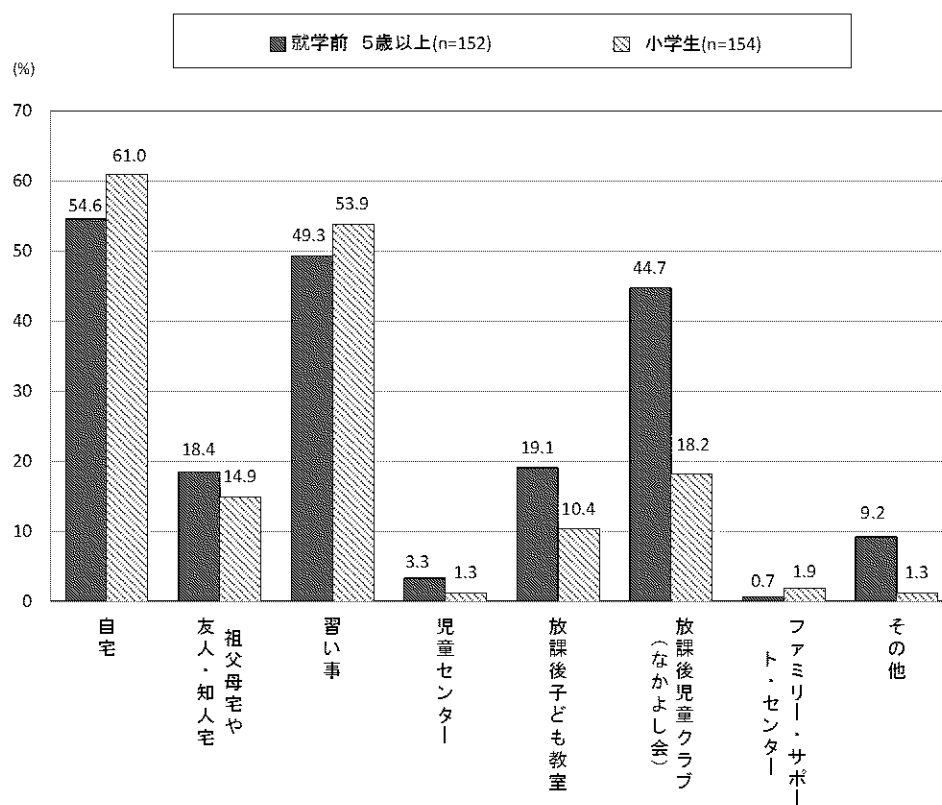
(4) 子どもが小学校低学年の時に、放課後に過ごす場所の意向（複数回答）

就学前児童：問 26、小学生児童：問 15

小学校低学年の時に放課後に過ごす場所の意向として、就学前児童では「自宅」(54.6%)が最も多くなっており、次いで「習い事」(49.3%)、「放課後児童クラブ(なかよし会)」(44.7%)と続きます。小学生児童では、自宅に続き、就学前児童と同様に「習い事」(53.9%)、「放課後児童クラブ(なかよし会)」(18.2%)となっています。「児童センター」(1.3%)や「ファミリー・サポート・センター」(1.9%)という回答もみられます。

■ 小学校低学年の時に、放課後に過ごす場所の意向

N=306



(5) 小学校低学年の時に、放課後に過ごす場所の週当たり利用日数の意向

就学前児童：問 26、小学生児童：問 15

小学校低学年の時に放課後の時間に過ごす場所の週当たり利用日数の意向をみると、最も日数の多い過ごし方としては「放課後児童クラブ」(なかよし会)があげられており、就学前児童、小学生児童ともに平均 4.3 日で、就学前児童ではその割合も 44.1%となっています。

■ 小学校低学年の時に、放課後の時間に過ごす場所の週当たり利用日数の意向 (就学前児童)

N=152

放課後の過ごし方	実数(人)									
	回答数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均(日)
自宅	83	5	16	25	9	21	2	3	2	3.5
祖父母宅や友人・知人宅	28	11	5	6	1	4	1	0	0	2.5
習い事	75	27	35	12	0	1	0	0	0	1.8
児童センター	5	1	1	0	0	0	0	0	3	1.5
放課後子ども教室	29	13	8	2	0	3	2	0	1	2.2
放課後児童クラブ(なかよし会)	67	2	5	11	11	29	8	0	1	4.3
ファミリー・サポート・センター	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3.0
その他	14	5	3	4	0	2	0	0	0	2.4
放課後の過ごし方	構成比(%)									
	回答数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均(日)
自宅	54.6	6.0	41.0	30.1	10.8	25.3	5.1	7.7	2.4	
祖父母宅や友人・知人宅	18.4	0.0	55.6	66.7	11.1	44.4	11.1	0.0	0.0	
習い事	49.3	36.0	46.7	57.1	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	
児童センター	3.3	20.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	
放課後子ども教室	19.1	44.8	114.3	28.6	0.0	10.3	6.9	0.0	14.3	
放課後児童クラブ(なかよし会)	44.1	3.0	13.5	16.4	16.4	43.3	21.6	0.0	2.7	
ファミリー・サポート・センター	0.7	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	9.2	35.7	21.4	28.6	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	

■ 小学校低学年の時に、放課後に過ごす場所の週当たり利用日数の意向 (小学生)

N=154

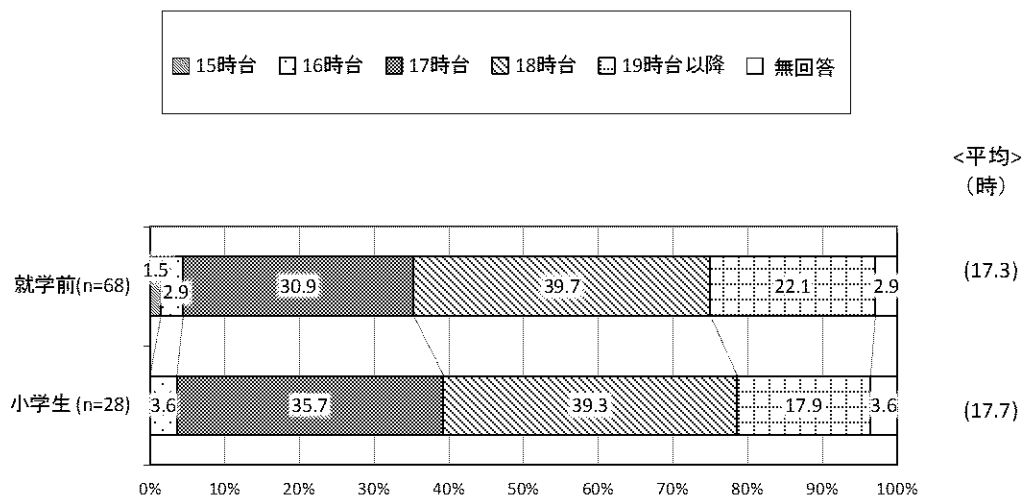
放課後の過ごし方	実数(人)									
	回答数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均(日)
自宅	94	11	12	22	12	29	4	4	60	3.7
祖父母宅や友人・知人宅	23	13	4	4	0	2	0	0	131	1.9
習い事	83	22	39	13	5	4	0	0	71	2.2
児童センター	2	1	1	0	0	0	0	0	152	0.0
放課後子ども教室	16	7	4	2	0	3	0	0	138	2.3
放課後児童クラブ(なかよし会)	28	1	0	7	4	13	3	0	126	4.3
ファミリー・サポート・センター	3	1	0	0	0	2	0	0	151	3.7
その他	2	0	1	0	0	1	0	0	152	0.0
放課後の過ごし方	構成比(%)									
	回答数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均(日)
自宅	61.0	11.7	12.8	23.4	12.8	30.9	4.3	4.3	63.8	
祖父母宅や友人・知人宅	14.9	56.5	17.4	17.4	0.0	8.7	0.0	0.0	5.7	
習い事	53.9	26.5	47.0	15.7	6.0	4.8	0.0	0.0	85.5	
児童センター	1.3	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.0	
放課後子ども教室	10.4	43.8	25.0	12.5	0.0	18.8	0.0	0.0	8.6	
放課後児童クラブ(なかよし会)	18.2	3.6	0.0	25.0	14.3	46.4	10.7	0.0	4.5	
ファミリー・サポート・センター	1.9	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	50.3	
その他	1.3	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	76.0	

(6) 小学校低学年の時の、放課後児童クラブの利用時間帯の意向

就学前児童：問 26、小学生児童：問 15

小学校低学年の時の放課後児童クラブの利用時間帯の意向をみると、就学前児童、小学生とともに「18 時台」が最も多く、次いで「17 時台」となります。19 時台以降については、就学前児童の方が 22.1%と高くなっています。

■ 小学校低学年の時の、放課後児童クラブの放課後の利用時間帯の意向（終了時間） N=96



	就学前 (n=68)		小学生 (n=28)	
	(人)	(%)	(人)	(%)
15時台	1	1.5	0	0.0
16時台	2	2.9	1	3.6
17時台	21	30.9	10	35.7
18時台	27	39.7	11	39.3
19時台以降	15	22.1	5	17.9
無回答	2	2.9	1	3.6
平均(時)	17.3		17.7	

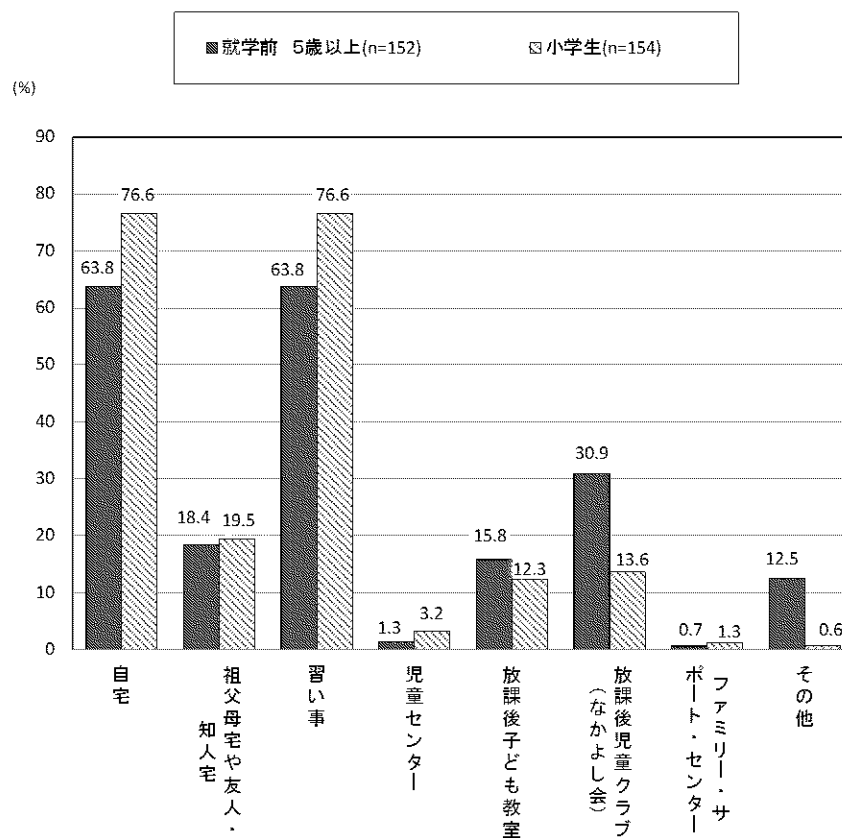
(7) 子どもが小学校高学年の時に、放課後に過ごす場所の意向（複数回答）

就学前児童：問 27、小学生児童：問 16

小学校高学年の時に放課後の時間に過ごす場所の意向として、就学前児童、小学生ともに「自宅」や「習い事」が最も高く、就学前児童では次いで「放課後児童クラブ（なかよし会）」（30.9%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（18.4%）となっています。小学生では「祖父母宅や友人・知人宅」（19.5%）、「放課後児童クラブ（なかよし会）」（13.6%）と続きます。

■ 小学校高学年の時に、放課後の時間に過ごす場所の意向

N=306



(8) 小学校高学年の時に、放課後に過ごす場所の週当たり利用日数の意向

就学前児童：問 27、小学生児童：問 16

小学校高学年の時に、放課後に過ごす場所の週当たり利用日数の意向について、平均日数では就学前児童で「放課後児童クラブ（なかよし会）」（平均 3.8 日）、次いで「自宅」（3.4 日）となっており、小学生では「自宅」（平均 4.8 日）、次いで「放課後児童クラブ（なかよし会）」（3.7 日）となっています。

回答数としては、就学前児童、小学生ともに「自宅」や「習い事」の意向が高くなっていることがわかります。

■ 小学校高学年の時に、放課後の時間に過ごす場所の週当たり利用日数の意向 N=152
(就学前児童 5 歳以上)

放課後の過ごし方	実数(人)									
	回答数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均(日)
自宅	97	7	26	21	5	24	5	3	6	3.4
祖父母宅や友人・知人宅	28	9	4	9	1	4	1	0	0	2.6
習い事	97	17	47	27	3	0	0	0	3	2.2
児童センター	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1.5
放課後子ども教室	24	7	9	4	1	2	1	0	0	2.4
放課後児童クラブ（なかよし会）	47	4	3	15	5	16	4	0	0	3.8
ファミリー・サポート・センター	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3.0
その他	19	5	6	4	0	2	1	0	1	2.5
放課後の過ごし方	構成比(%)									
	回答数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均(日)
自宅	63.8	7.2	26.8	21.6	5.2	24.7	12.8	7.7	6.2	
祖父母宅や友人・知人宅	18.4	0.0	44.4	100.0	11.1	44.4	11.1	0.0	0.0	
習い事	63.8	17.5	48.5	27.8	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	
児童センター	1.3	50.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
放課後子ども教室	15.8	29.2	128.6	57.1	14.3	8.3	4.2	0.0	0.0	
放課後児童クラブ（なかよし会）	30.9	8.5	8.1	31.9	10.6	34.0	10.8	0.0	0.0	
ファミリー・サポート・センター	0.7	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	12.5	26.3	31.6	21.1	0.0	66.7	33.3	0.0	5.3	

■ 小学校高学年の時に、放課後の時間に過ごす場所の週当たり利用日数の意向 N=154
(小学生)

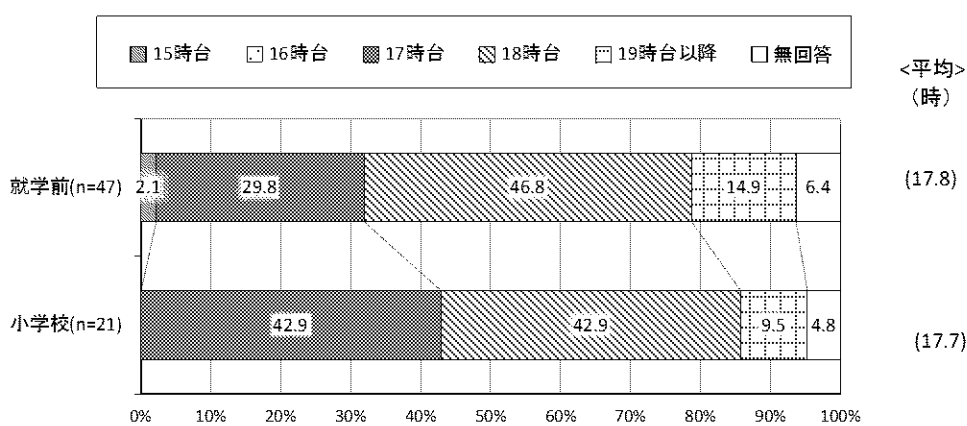
放課後の過ごし方	実数(人)									
	回答数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均(日)
自宅	118	15	25	29	13	29	3	4	36	4.8
祖父母宅や友人・知人宅	30	12	10	4	1	3	0	0	124	2.1
習い事	118	16	50	33	11	8	0	0	36	3.6
児童センター	5	2	2	0	0	1	0	0	149	2.2
放課後子ども教室	19	10	7	1	0	1	0	0	135	1.7
放課後児童クラブ（なかよし会）	21	2	3	6	0	9	1	0	133	3.7
ファミリー・サポート・センター	2	2	0	0	0	0	0	0	152	1.0
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	153	1.0
放課後の過ごし方	構成比(%)									
	回答数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均(日)
自宅	76.6	12.7	21.2	24.6	11.0	24.6	2.5	3.4	30.5	
祖父母宅や友人・知人宅	19.5	40.0	33.3	13.3	3.3	10.0	0.0	0.0	24.2	
習い事	76.6	13.6	42.4	28.0	9.3	6.8	0.0	0.0	30.5	
児童センター	3.2	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	3.4	
放課後子ども教室	12.3	52.6	36.8	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	14.1	
放課後児童クラブ（なかよし会）	13.6	9.5	14.3	28.6	0.0	42.9	4.8	0.0	15.8	
ファミリー・サポート・センター	1.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	
その他	0.6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	

(9) 小学校高学年の時の、放課後児童クラブの利用時間帯の意向

就学前児童：問 27、小学生児童：問 16

小学校高学年の時の放課後児童クラブ（なかよし会）の利用時間帯の意向について、就学前児童では「18時台」（46.8%）が最も多く、次いで「17時台」（29.8%）となっており、平均は17時50分頃です。小学生では、「17時台」や「18時台」でそれぞれ42.9%で、19時以降という回答は9.5%みられます。

■ 小学校高学年の時の、放課後児童クラブ（なかよし会）の放課後の利用時間帯の意向（終了時間） N=68



	就学前 (n=47)		小学校 (n=21)	
	(人)	(%)	(人)	(%)
15時台	1	2.1	0	0.0
16時台	0	0.0	0	0.0
17時台	14	29.8	9	42.9
18時台	22	46.8	9	42.9
19時台以降	7	14.9	2	9.5
無回答	3	6.4	1	4.8
平均(時)	17.8		17.7	

(10) 放課後児童クラブの土曜日の利用と利用時間帯の意向

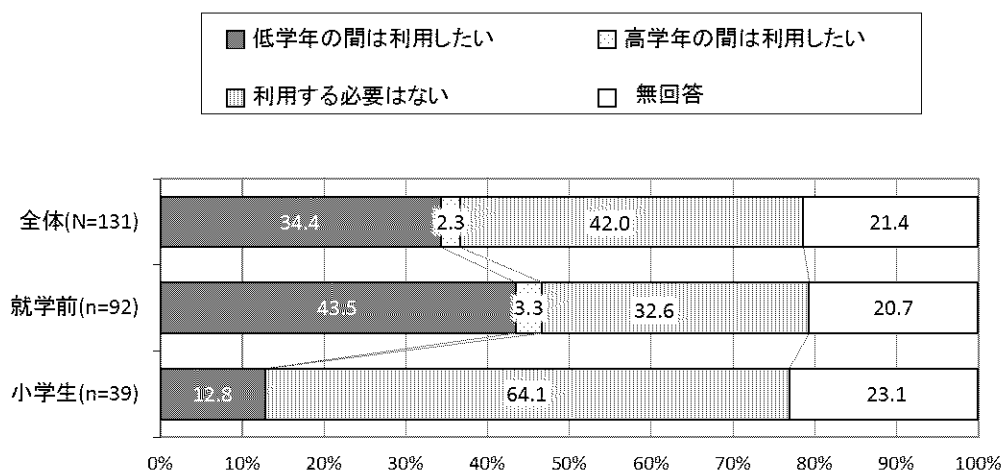
就学前児童：問 28（1）、小学生児童：問 17（1）

放課後児童クラブ（なかよし会）の土曜日の利用の意向として、全体をみると「利用する必要はない」（42.0%）が最も高く、次いで「低学年の間は利用したい」（34.4%）となっており、「低学年の間は利用したい」の回答については、小学生児童よりも就学前児童の意向が高くなっています。

放課後児童クラブ（なかよし会）の土曜日の利用開始時間の意向としては、8時台が58.3%と高く、次いで「9時台」（31.3%）となり、8～9時台で89.6%の意向がみられます。

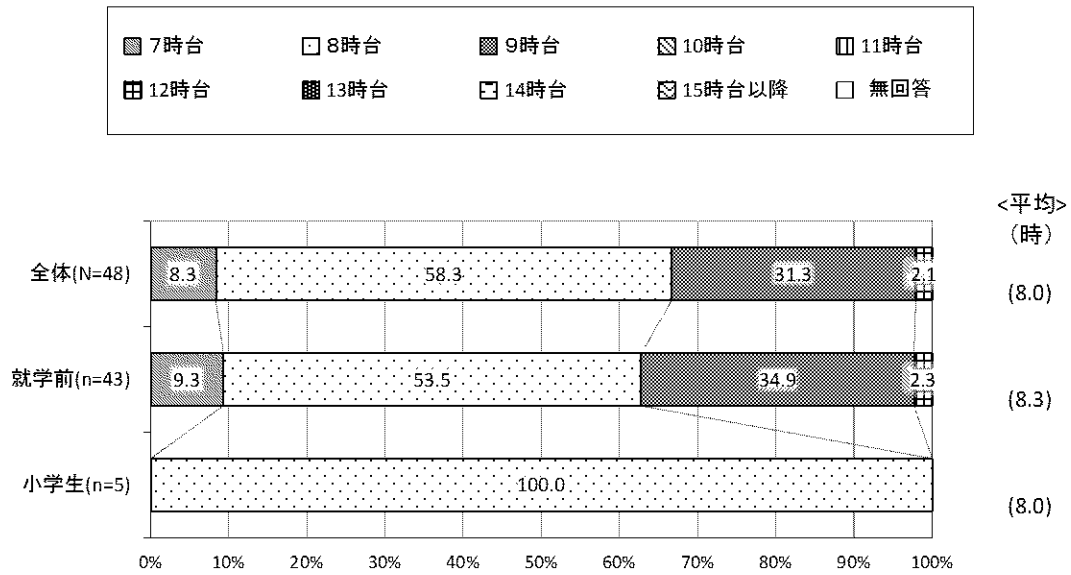
放課後児童クラブ（なかよし会）の土曜日の利用終了時間の意向としては、18時台以降が56.3%と高く、次いで「17時台」（29.2%）となり、17～18時台で85.5%の意向がみられます。

■ 放課後児童クラブ（なかよし会）の土曜日の利用意向 N=131



■ 放課後児童クラブ（なかよし会）の土曜日の利用開始時間の意向

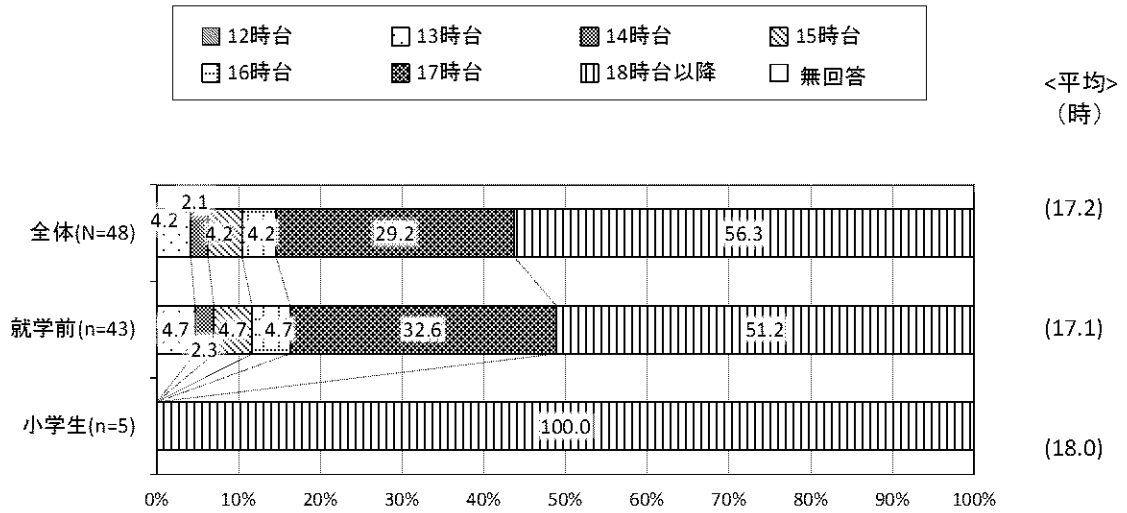
N = 48



	全体 (N=48)		就学前 (n=43)		小学生 (n=5)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
7時台	4	8.3	4	9.3	0	0.0
8時台	28	58.3	23	53.5	5	100.0
9時台	15	31.3	15	34.9	0	0.0
10時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12時台	1	2.1	1	2.3	0	0.0
13時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15時台以降	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	48	100.0	43	100.0	5	100.0

■ 放課後児童クラブ（なかよし会）の土曜日の利用終了時間の意向

N=48



	全体(N=48)		就学前(n=43)		小学生(n=5)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
12時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13時台	2	4.2	2	4.7	0	0.0
14時台	1	2.1	1	2.3	0	0.0
15時台	2	4.2	2	4.7	0	0.0
16時台	2	4.2	2	4.7	0	0.0
17時台	14	29.2	14	32.6	0	0.0
18時台以降	27	56.3	22	51.2	5	100.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	48	100.0	43	100.0	5	100.0

(11) 放課後児童クラブの日曜・祝日の利用と利用時間帯の意向

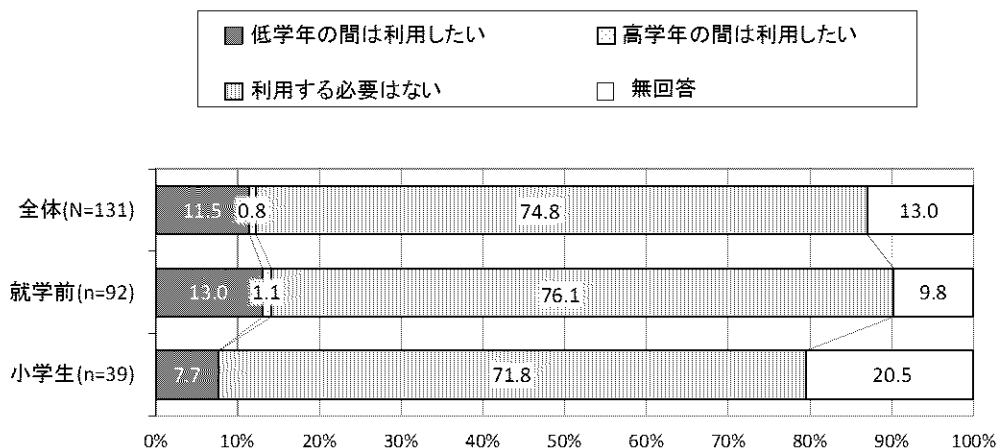
就学前児童：問 28（2）、小学生児童：問 17（2）

放課後児童クラブ（なかよし会）の日曜・祝日の利用の意向として、「利用する必要はない」が 74.8%と最も多く、「低学年の間は利用したい」（11.5%）となっています。「低学年の間は利用したい」、「高学年の間は利用したい」の回答については、就学前児童の方が小学生児童よりも意向が高くなっています。

放課後児童クラブ（なかよし会）の日曜・祝日の利用開始時間の意向としては、8時台が 56.3%と高く、次いで「9時台」（31.3%）となり、8～9時台で 87.6%の意向がみられます。

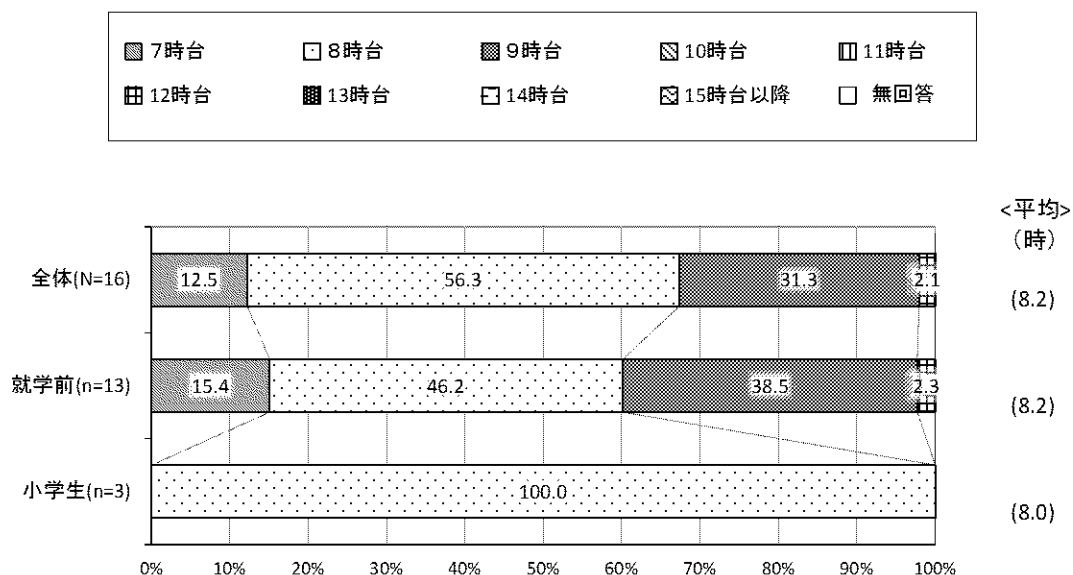
放課後児童クラブ（なかよし会）の日曜・祝日の利用終了時間の意向としては、18時台以降が 75.0%と高く、次いで「17時台」（18.8%）となり、17～18時台で 93.8%の意向がみられます。

■ 放課後児童クラブ（なかよし会）の日曜・祝日の利用意向 N=131



■ 放課後児童クラブ（なかよし会）の日曜・祝日の利用開始時間

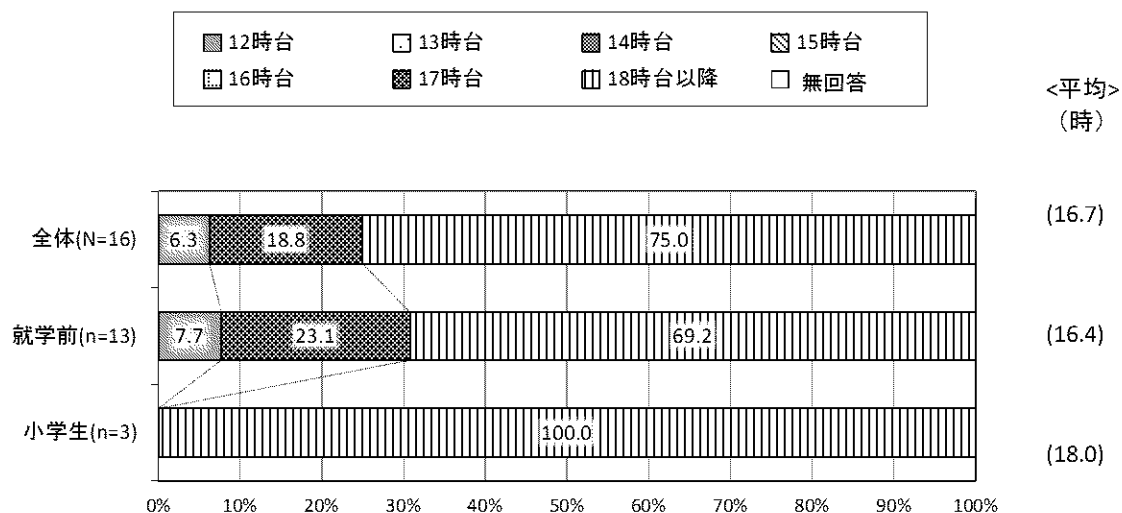
N=16



	全体 (N=16)		就学前 (n=13)		小学生 (n=3)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
7時台	2	12.5	2	15.4	0	0.0
8時台	9	56.3	6	46.2	3	100.0
9時台	5	31.3	5	38.5	0	0.0
10時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15時台以降	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	16	100.0	13	100.0	3	100.0

■ 放課後児童クラブ（なかよし会）の日曜・祝日の利用終了時間

N = 20



	全体 (N=16)		就学前 (n=13)		小学生 (n=3)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
12時台	1	6.3	1	7.7	0	0.0
13時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
16時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
17時台	3	18.8	3	23.1	0	0.0
18時台以降	12	75.0	9	69.2	3	100.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	16	100.0	13	100.0	3	100.0

(12) 放課後児童クラブの長期の休暇中の利用と利用時間帯の意向

就学前児童：問 29、小学生児童：問 18

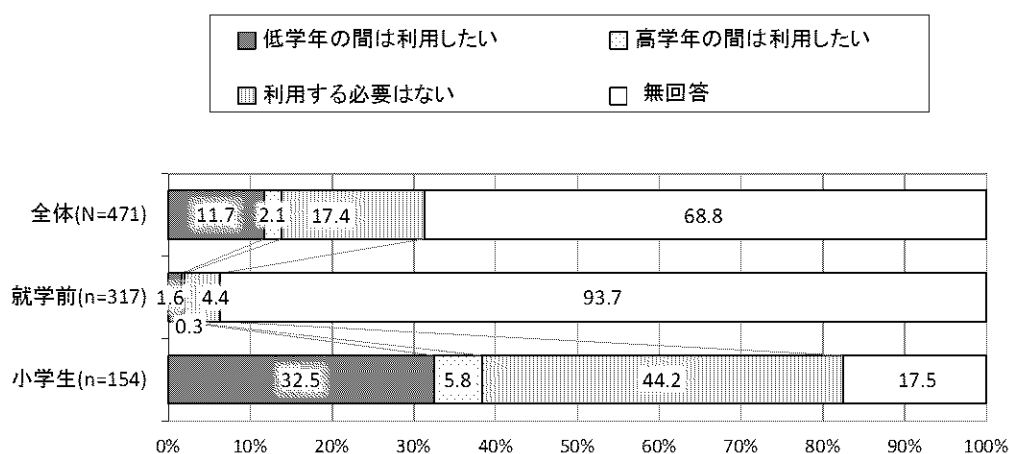
放課後児童クラブ（なかよし会）の長期の休暇中の利用の意向として、無回答を除き「利用する必要はない」が 17.4%と多く、「低学年の間は利用したい」（11.7%）と続きます。「低学年の間は利用したい」、「高学年の間は利用したい」については、就学前児童より小学生児童の意向が高くなっています。

放課後児童クラブ（なかよし会）の長期の休暇中の利用開始時間の意向としては、8時台が 66.2%最も高く、次いで「9時台」（21.5%）となり、8～9時台で 87.7%の意向がみられます。

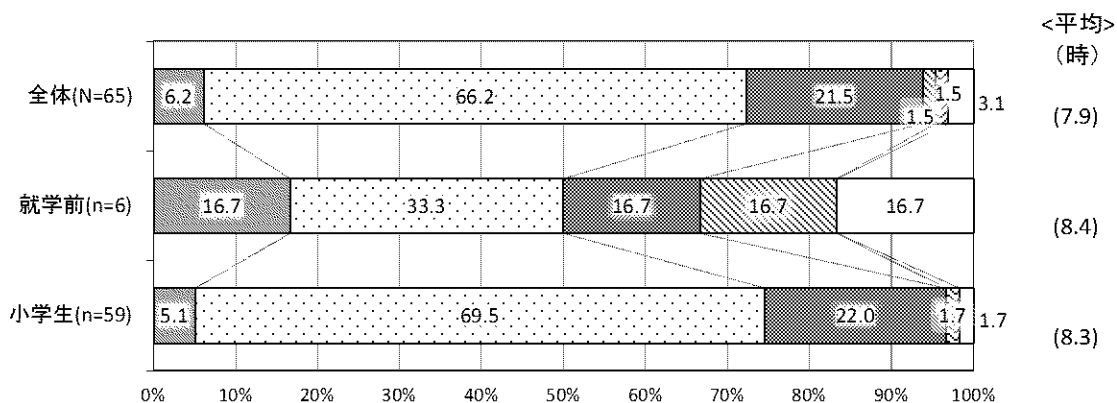
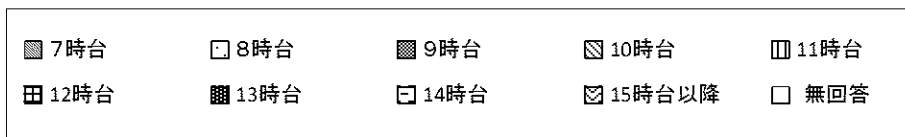
放課後児童クラブ（なかよし会）の長期の休暇中の利用終了時間の意向としては、18時台以降が 56.9%と高く、次いで「17時台」（26.2%）となり、17～18時台で 83.1%の意向がみられます。

■ 放課後児童クラブ（なかよし会）の長期の休暇中の利用意向

N=471



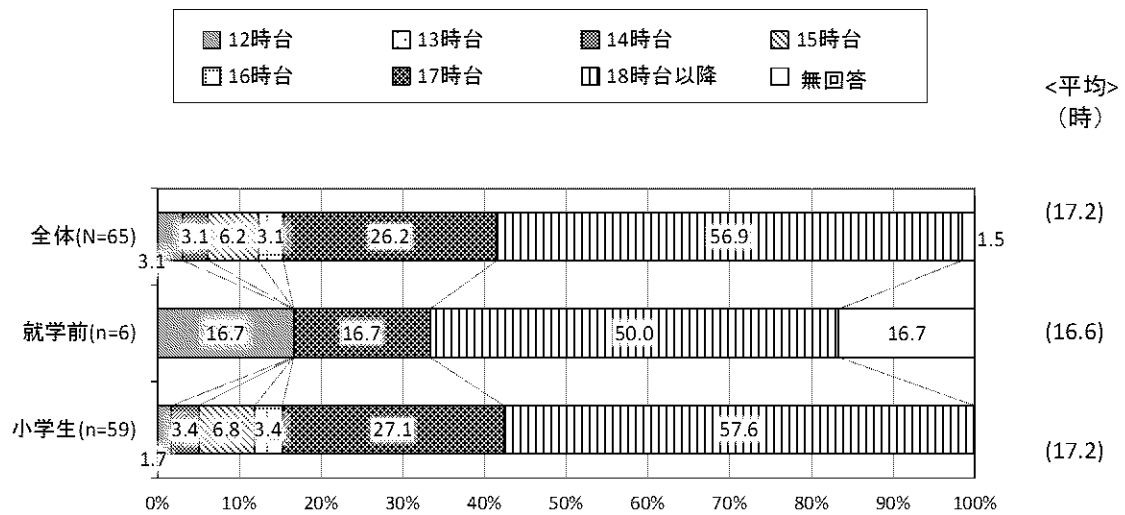
■放課後児童クラブ（なかよし会）の長期の休暇中の利用開始時間の意向 N=65



	全体(N=65)		就学前(n=6)		小学生(n=59)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
7時台	4	6.2	1	16.7	3	5.1
8時台	43	66.2	2	33.3	41	69.5
9時台	14	21.5	1	16.7	13	22.0
10時台	1	1.5	1	16.7	0	0.0
11時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15時台以降	1	1.5	0	0.0	1	1.7
無回答	2	3.1	1	16.7	1	1.7
計	65	100.0	6	100.0	59	100.0

■放課後児童クラブ（なかよし会）の長期の休暇中の利用終了時間

N=113



	全体 (N=65)		就学前 (n=6)		小学生 (n=59)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
12時台	2	3.1	1	16.7	1	1.7
13時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14時台	2	3.1	0	0.0	2	3.4
15時台	4	6.2	0	0.0	4	6.8
16時台	2	3.1	0	0.0	2	3.4
17時台	17	26.2	1	16.7	16	27.1
18時台以降	37	56.9	3	50.0	34	57.6
無回答	1	1.5	1	16.7	0	0.0
計	65	100.0	6	100.0	59	100.0

11. 育児休業制度や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

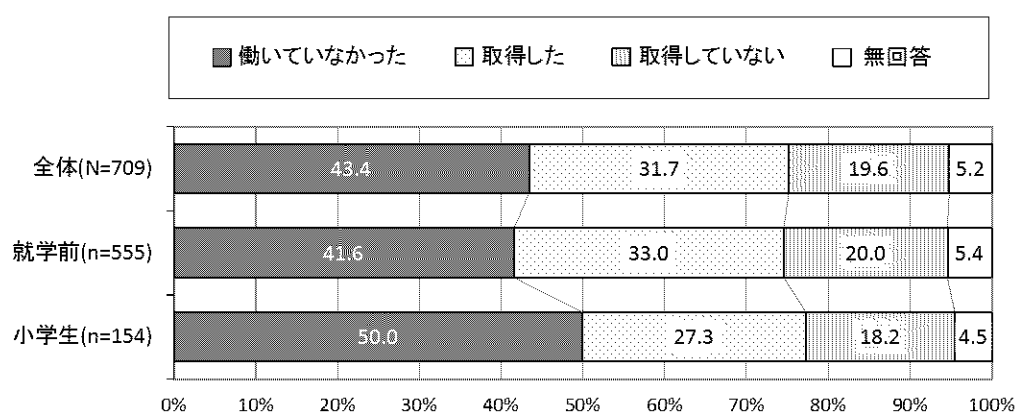
(1) 育児休業制度の取得経験

就学前児童：問 30（1）、小学生児童：問 23（1）

母親の育児休業制度の取得については、「働いていなかった」（43.4%）が最も多くなります。「取得した」（31.7%）と「取得していない」（19.6%）を比較すると、取得者の方が多いことがうかがえます。

就学前児童の方が、小学生児童よりも育児休業制度の取得率が高いことがうかがえ、また小学生児童の方が働いていなかった割合が高いことが分かります。「取得していない」という回答については、やや就学前児童の方が多いい傾向がみられます。

■ 育児休業制度の利用経験（母親） N = 709



(2) 育児休業制度を取得していない理由（母親）

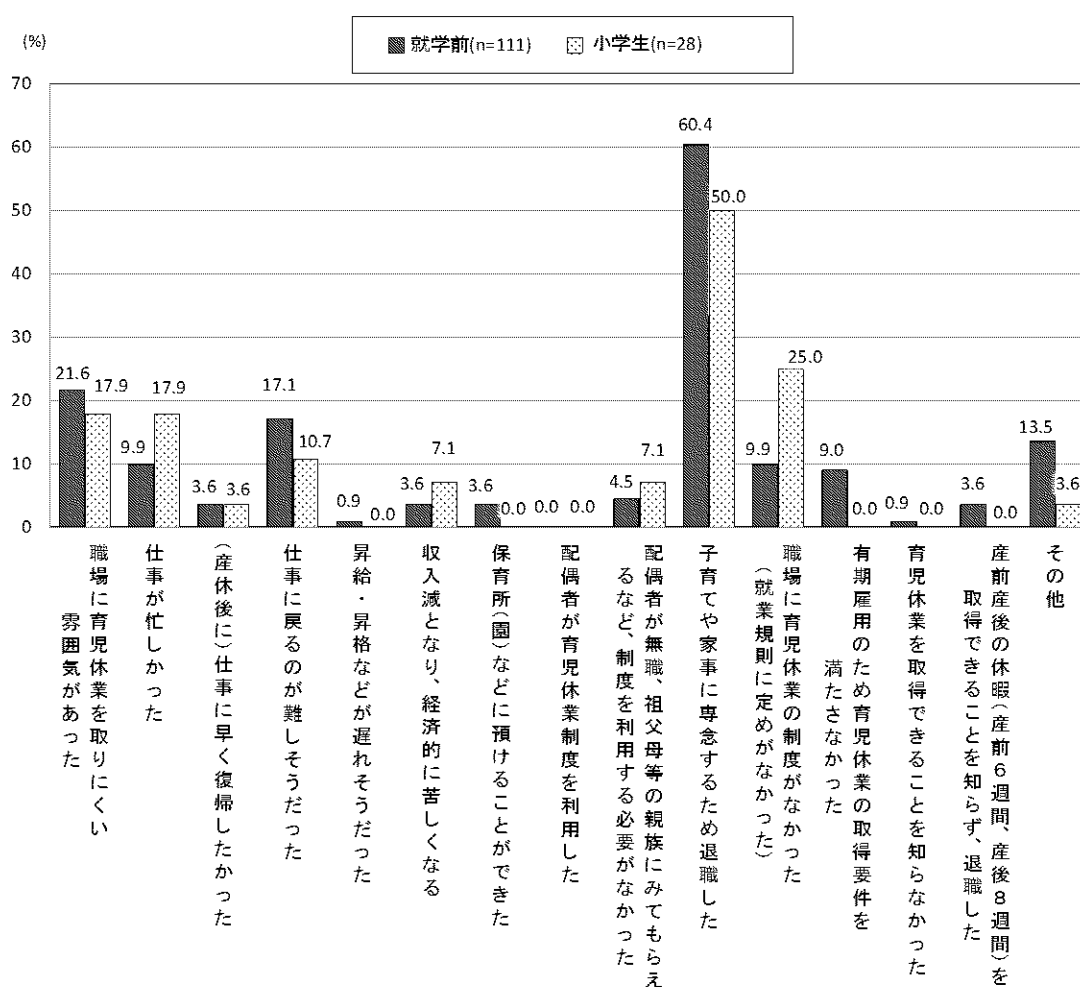
就学前児童：問 30（1）、小学生児童：問 23（1）

母親の育児休業制度を取得していない理由として、就学前児童では「子育てや家事に専念するため退職した」が60.4%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（21.6%）、「仕事に戻るのが難しそうだった」（17.1%）という回答があり、仕事や職場に起因する理由がうかがえます。また「育児休業を取得できることを知らなかった」という回答も0.9%みられます。

小学生児童では、就学前児童と同様に「子育てや家事に専念するため退職した」が50.0%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」（25.0%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」や「仕事が忙しかった」がそれぞれ17.9%という回答がみられます。

■ 育児休業制度を取得していない理由（母親）

N = 139



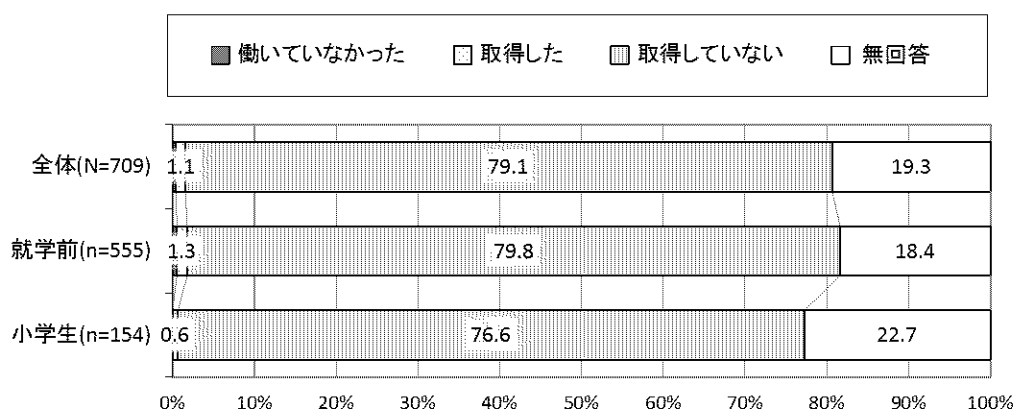
(3) 育児休業制度の取得経験（父親）

就学前児童：問 30（2）、小学生児童：問 23（2）

父親の育児休業制度の取得については、「取得していない」が 79.1%と最も多いものの、「取得した」が 1.1%みられます。

就学前児童では「取得した」という回答が 1.3%みられ、育児休業制度を利用しているのは母親に多く、父親で利用したという人はあまりいない結果となっています。

■ 育児休業制度の利用経験（父親） N = 709



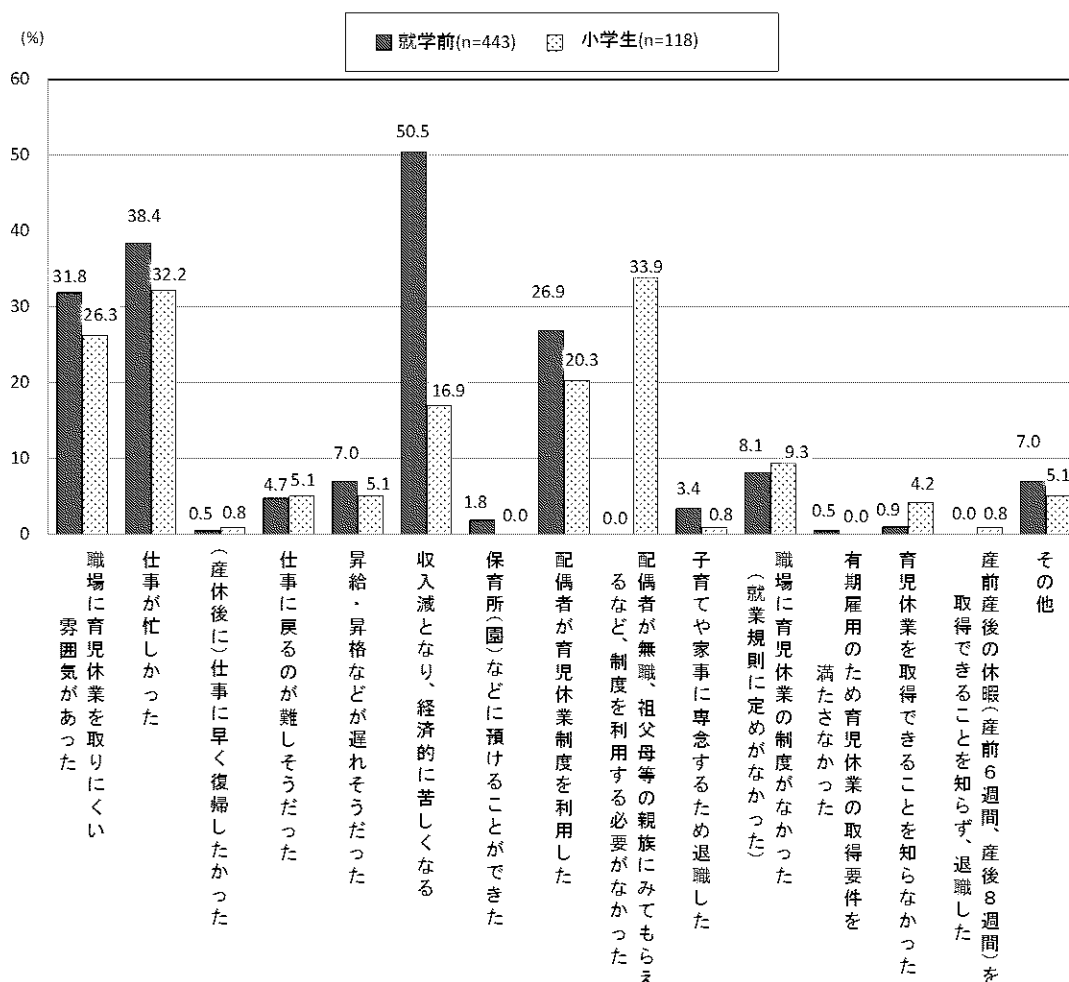
(4) 育児休業制度を取得していない理由（父親）

就学前児童：問 30（2）、小学生児童：問 23（2）

父親が育児休業制度を取得していない理由として、就学前児童では「収入減となり、経済的に苦しくなる」(50.5%) が最も多く、次いで「仕事が忙しかった」(38.4%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(31.8%) と続きます。小学生児童では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(33.9%) が最も高く、以下、就学前児童と同様に「仕事が忙しかった」(32.2%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(26.3%) と続きます。特に就学前児童の父親は、経済的理由が大きいことがうかがえます。

■ 育児休業制度を取得していない理由（父親）

N = 561



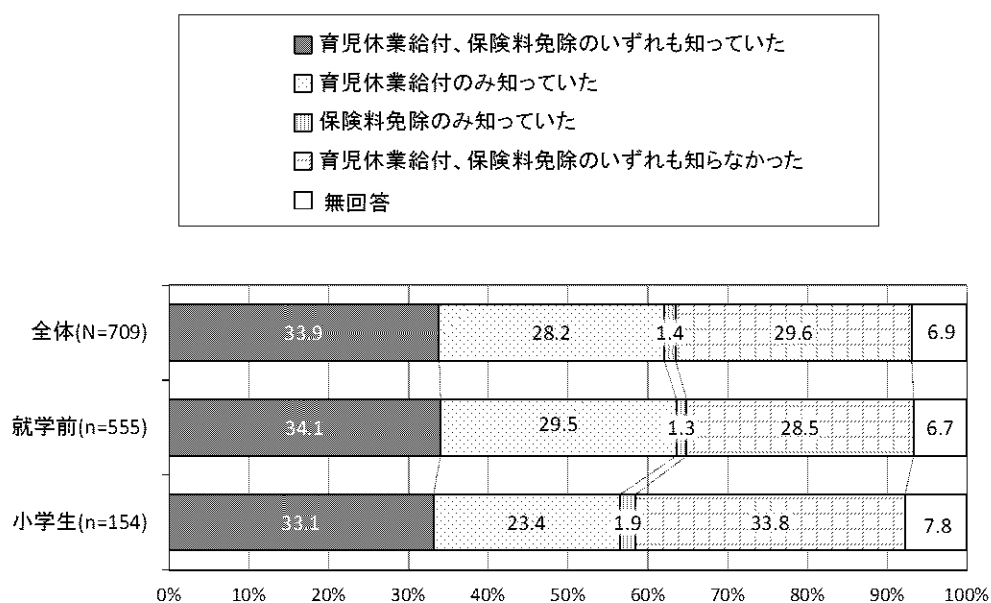
(5) 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みと、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みに関する認知度

就学前児童：問30-1、小学生児童：問23-1

育児休業給付と保険料の免除について、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が33.9%と最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」(29.6%)、「育児休業給付のみ知っていた」(28.2%)となります。

■ 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みと、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みに関する認知度

N=709



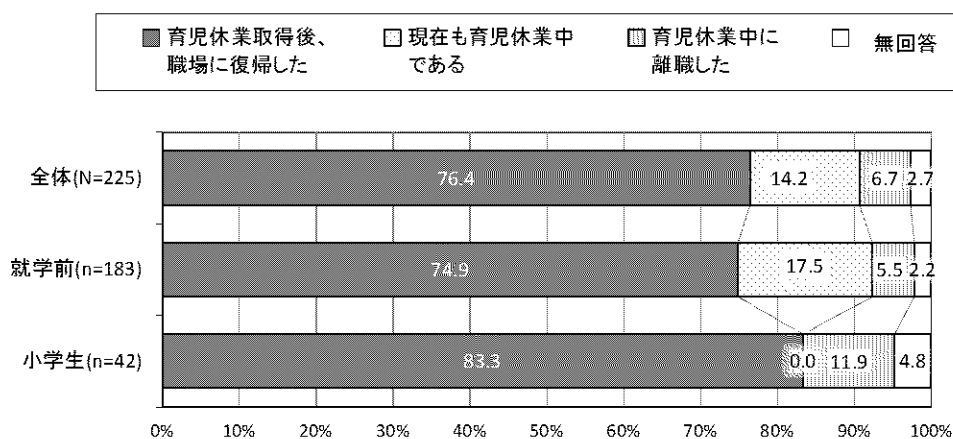
(6) 育児休業取得後の職場復帰（母親）

就学前児童：問 30-2 (1)、小学生児童：問 23-2 (1)

母親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」(76.4%)が最も多く、その割合は小学生児童(83.3%)で多くみられます。

■ 育児休業取得後の職場復帰（母親）

N=225



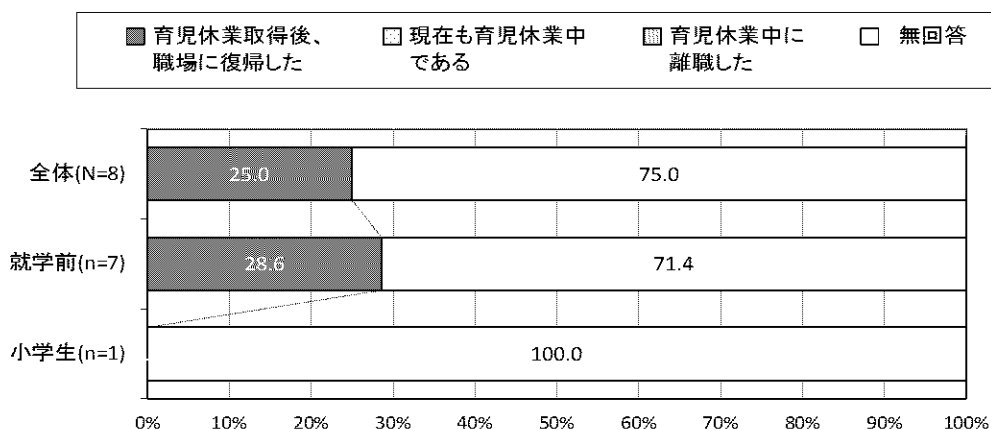
(7) 育児休業取得後の職場復帰（父親）

就学前児童：問 30-2 (2)、小学生児童：問 23-2 (2)

父親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」(25.0%)が多くなっています。

■ 育児休業取得後の職場復帰（父親）

N=8



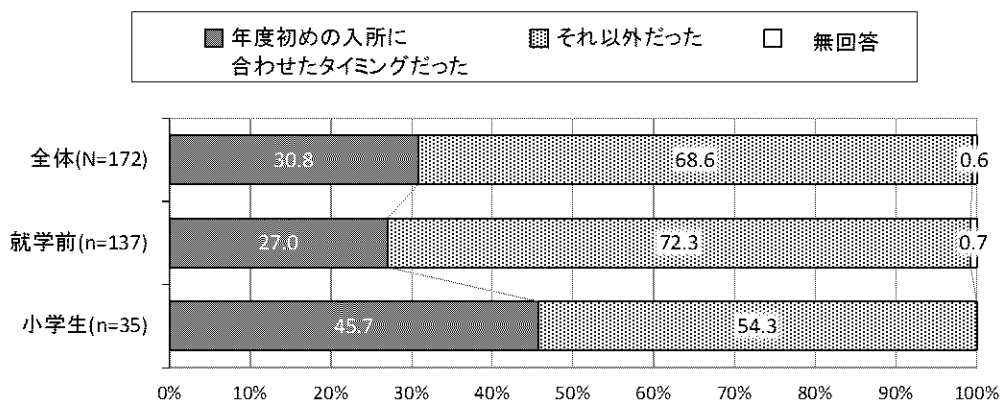
(8) 育児休業から職場に復帰したタイミング（母親）

就学前児童：問 30-3 (1)、小学生児童：問 23-3 (1)

母親の育児休業から職場に復帰したタイミングについて、30.8%の人が「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答しており、「それ以外だった」と回答した人が 68.6% となっています。就学前児童よりも小学生児童の方が「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答した割合がやや高くなっています。

■ 育児休業から職場に復帰したタイミング（母親）

N=172



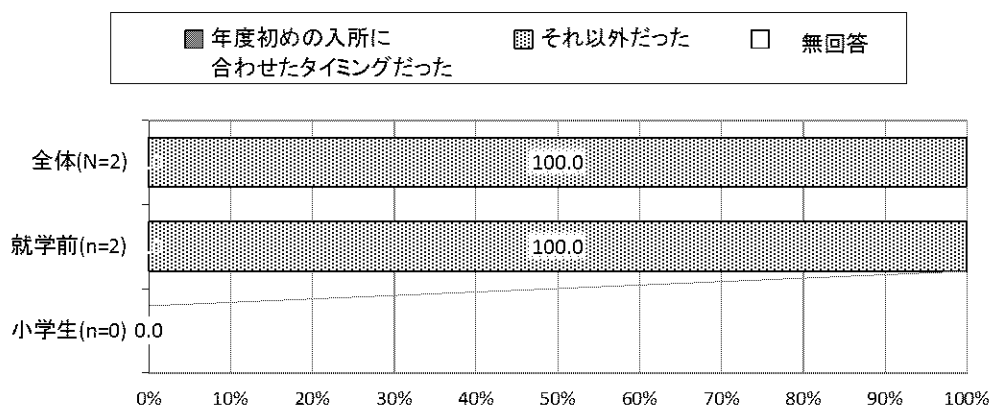
(9) 育児休業から職場に復帰したタイミング（父親）

就学前児童：問 30-3 (2)、小学生児童：問 23-3 (2)

父親の育児休業から職場に復帰したタイミングについては、「それ以外だった」という回答になっており、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」という回答はありません。

■ 育児休業から職場に復帰したタイミング（父親）

N=2



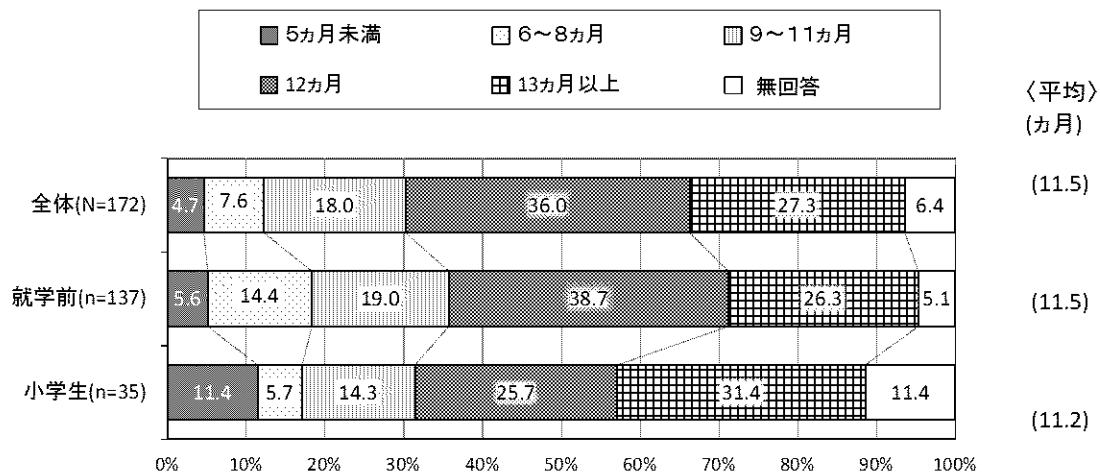
(10) 育児休業制度からの職場復帰時の、子どもの月齢（母親）

就学前児童：問 30-4 (1)、小学生児童：問 23-4 (1)

母親が育児休業制度から職場復帰をした時の子どもの月齢については、「12ヶ月」が36.0%と最も多く、次いで「13ヶ月以上」(27.3%)、「9～11ヶ月」(18.0%)となっています。就学前児童と小学生児童を比較すると、12ヶ月では就学前児童の方が高くなっており、5ヵ月未満での職場復帰は、小学生児童の方が高くなっていきます。

■ 職場復帰時の子どもの月齢（母親）

N=172

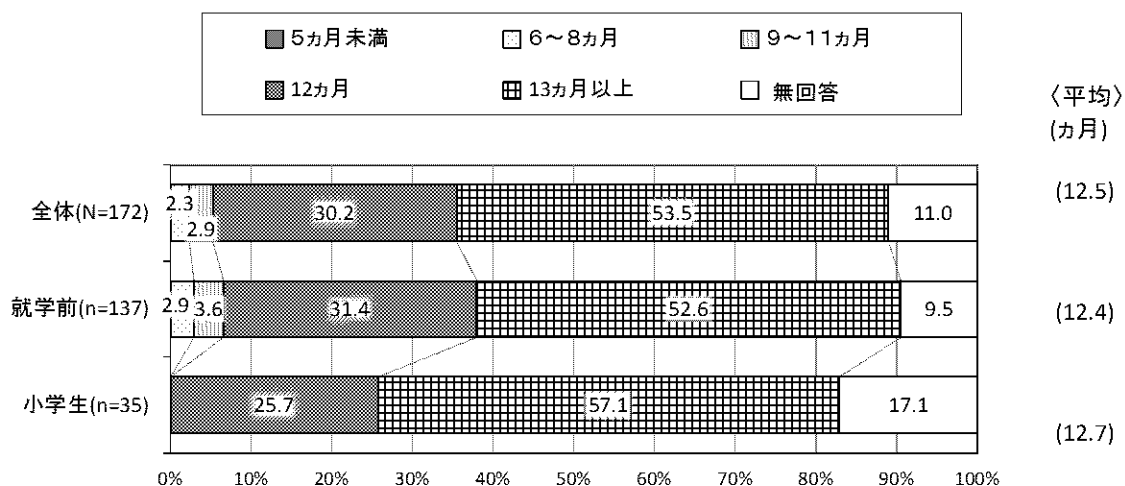


(11) 育児休業制度からの職場復帰時の、子どもの月齢の意向（母親）

就学前児童：問 30-4（1）、小学生児童：問 23-4（1）

母親が育児休業制度から職場復帰をする時の子どもの月齢への意向については、「13 カ月以上」が 53.5%と最も多く、次いで「12 カ月」（30.2%）、「9～11 カ月」（2.9%）となり、合わせると 12 カ月以上が 83.7%を占めます。就学前児童と小学生児童を比較すると、13 カ月以上がともに多いものの、就学前児童の方が 9～11 カ月など、12 カ月未満の意向があることが分かります。

■ 職場復帰時の子どもの月齢の意向（母親） N=172



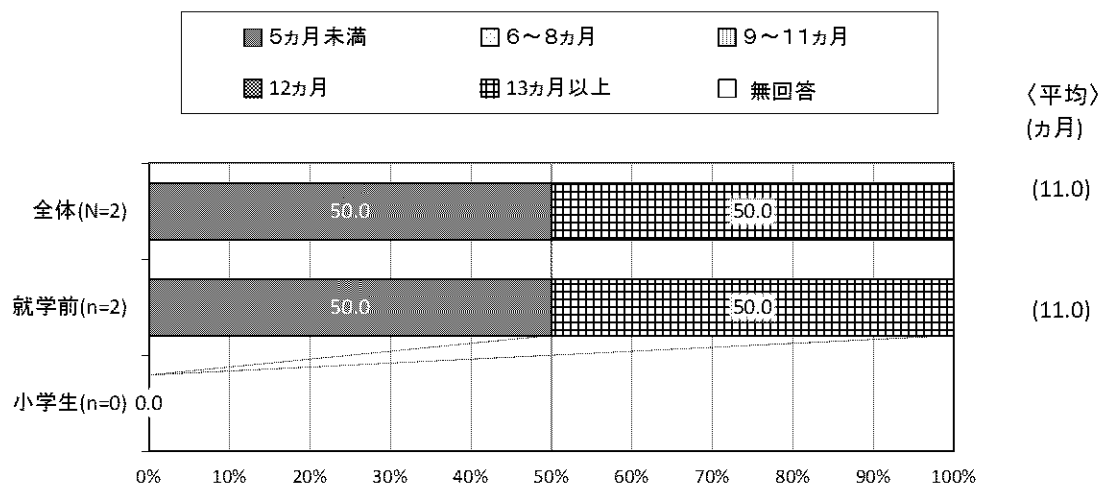
(12) 育児休業制度からの職場復帰時の、子どもの月齢（父親）

就学前児童：問 30-4 (2)、小学生児童：問 23-4 (2)

父親が育児休業制度から職場復帰をした時の子どもの月齢については、2人から回答を得ており、「5ヵ月未満」と「13ヵ月以上」となっており、平均は11ヵ月です。

■ 職場復帰時の子どもの月齢（父親）

N = 2



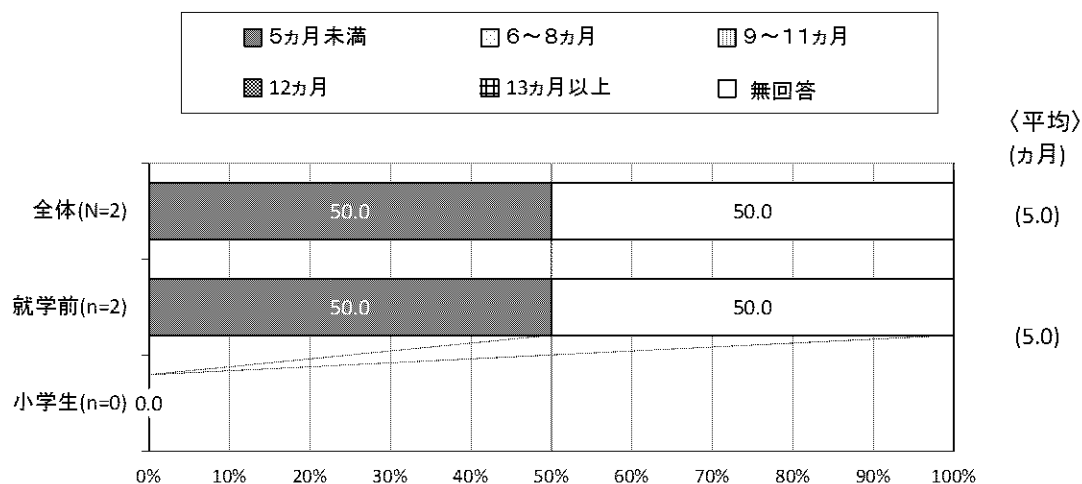
(13) 育児休業制度からの職場復帰時の、子どもの月齢の意向（父親）

就学前児童：問 30-4 (2)、小学生児童：問 23-4 (2)

父親が育児休業制度から職場復帰をする時の子どもの月齢への意向については、「5ヵ月未満」（50.0%）となっており、平均は5ヵ月となっています。

■ 職場復帰時の子どもの月齢の意向（父親）

N = 3

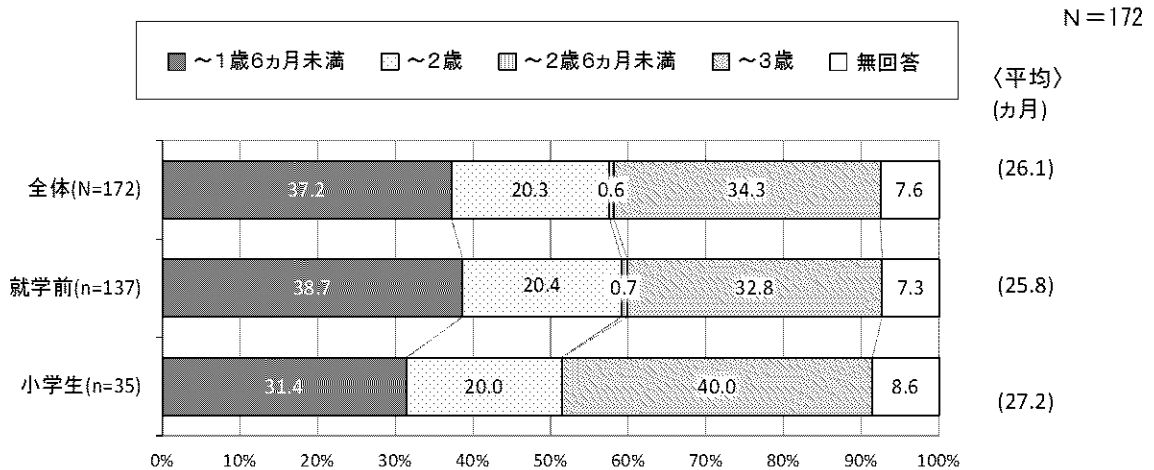


(14) 勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の、育児休業制度からの職場復帰時の、子どもの月齢の意向（母親）

就学前児童：問 30-5 (1)、小学生児童：問 23-5 (1)

母親の意向としては、「～1歳6ヵ月未満」が37.2%と高く、次いで「～3歳」(34.3%)、「～2歳」(20.3%)となっています。小学生児童(平均27.2ヵ月)の方が就学前児童(25.8ヵ月)よりも、長期間取得への意向がみられます。

■ 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の、職場復帰時の子どもの月齢の意向（母親）

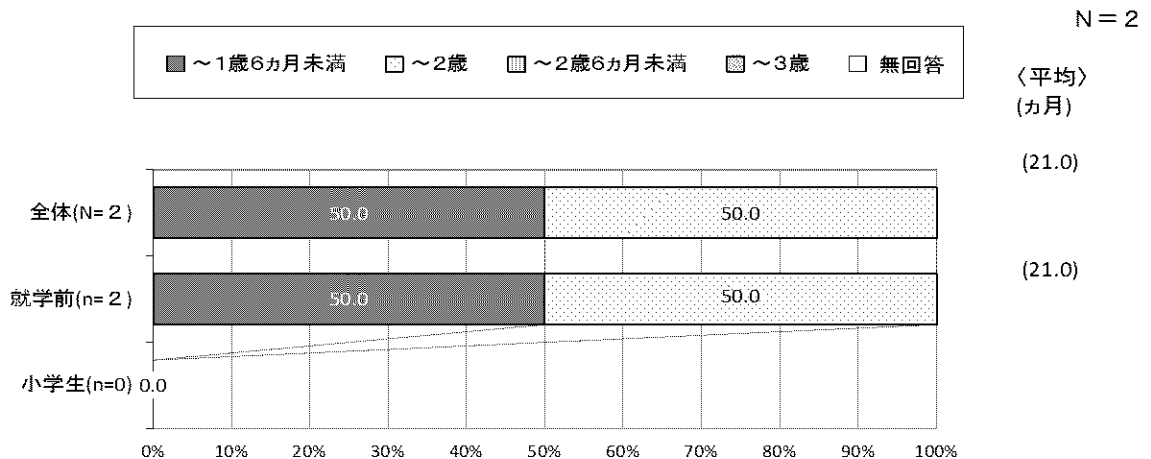


(15) 勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の、育児休業制度からの職場復帰時の、子どもの月齢の意向（父親）

就学前児童：問 30-5 (2)、小学生児童：問 23-5 (2)

父親の意向としては、2人の回答を得ています。「～1歳6ヵ月未満」と「～2歳」がそれぞれ50.0%と多くっており、平均は21.0ヵ月となっています。

■ 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の、職場復帰時の子どもの月齢の意向（父親）



(16) 育児休業制度から、希望の時期に職場復帰しなかった理由（早く復帰）（複数回答）

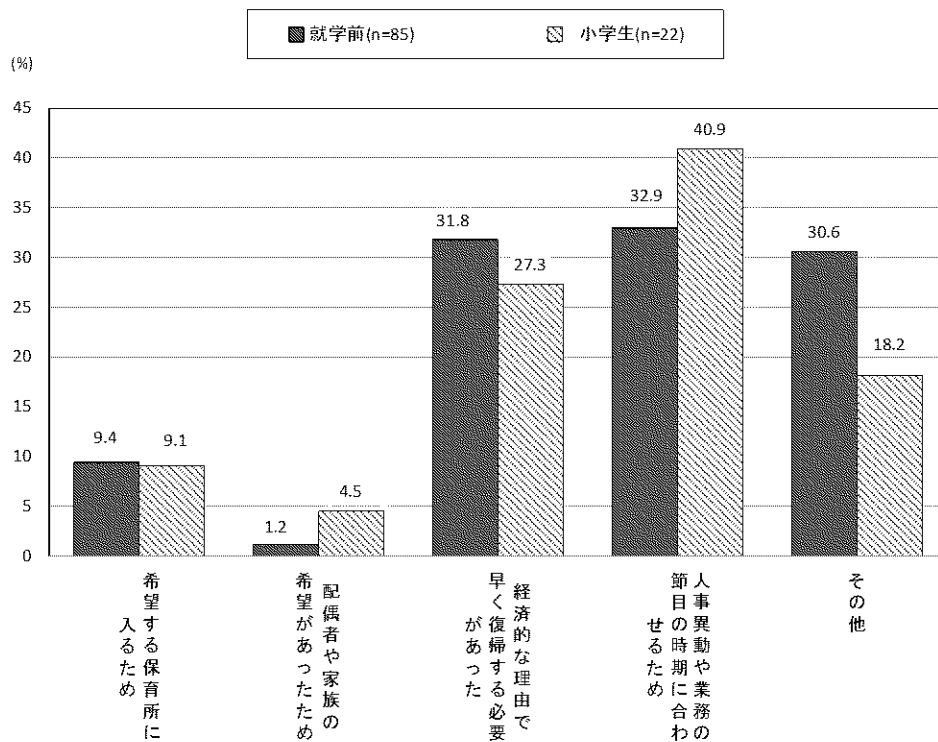
就学前児童：問 30－6（1）、小学生児童：問 23－6（1）

母親が希望より早い時期に職場復帰した理由について、就学前児童と小学生児童ともに「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」となっています。また、「配偶者や家族の希望があったため」という回答もみられます。

また、その他について就学前児童（30.6%）では、「前例で大体1年位が目安のため、自分だけ長くとりづらい」、「自分のスキルのため」、「職場が1歳までしかとれず、ならし保育を含めると少し早目の職場復帰となった」という回答があり、小学生児童（18.2%）では「休業を長期化させると職場復帰が辛くなるため」、「歳の離れた兄と同じ時期に保育園に入って慣れさせなかった」、「職場に長期化を取得した前例がなく困難」という回答がみられました。

■ 「希望」より早く職場復帰した人（母親）

N = 107



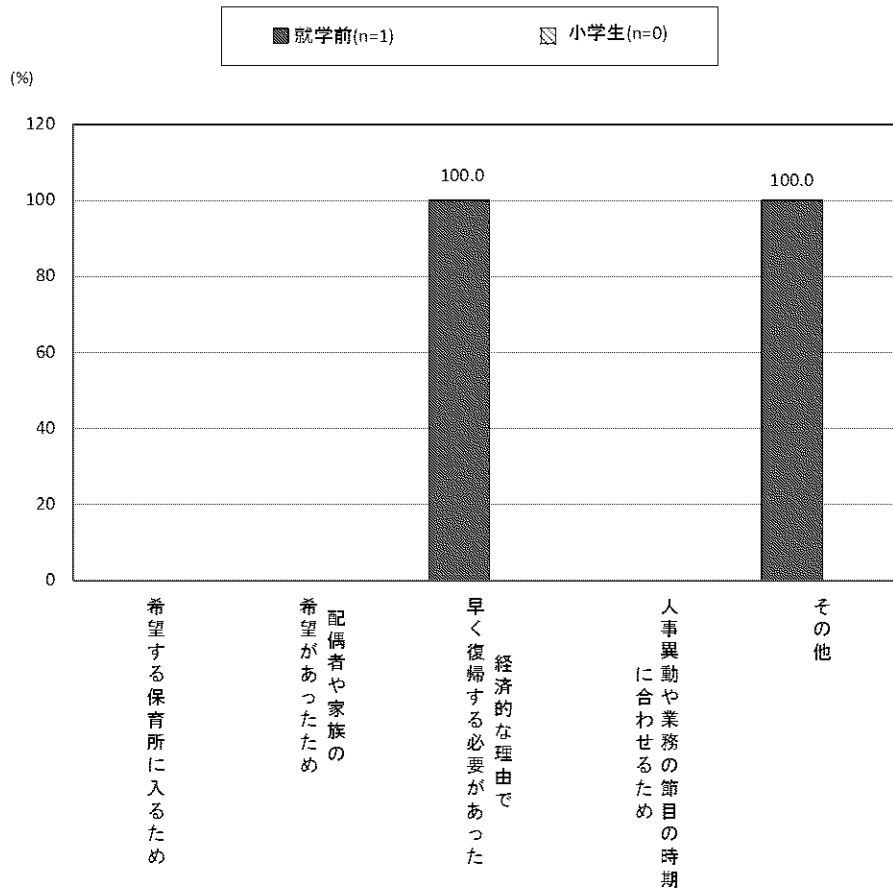
(17) 育児休業制度から、希望の時期に職場復帰しなかった理由（早く復帰）（複数回答）

就学前児童：問 30－6（1）、小学生児童：問 23－6（1）

父親の希望より早い時期に職場復帰した理由について、1人から回答を得ており、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」となっています。また、その他について「職場に迷惑をかけられないと思ったから」という回答がみられます。

■ 「希望」より早く職場復帰した人（父親）

N = 1



(18) 育児休業制度から、希望の時期に職場復帰しなかった理由（遅く復帰）（複数回答）

就学前児童：問 30－6（2）、小学生児童：問 23－6（2）

母親の希望より遅い時期に職場復帰した理由については、「その他」という回答になっています。その他について詳細の回答はみられません。

■ 「希望」より遅く職場復帰した人（母親）

N = 1



■ 「希望」より遅く職場復帰した人（父親）

N = 0

該当者なし

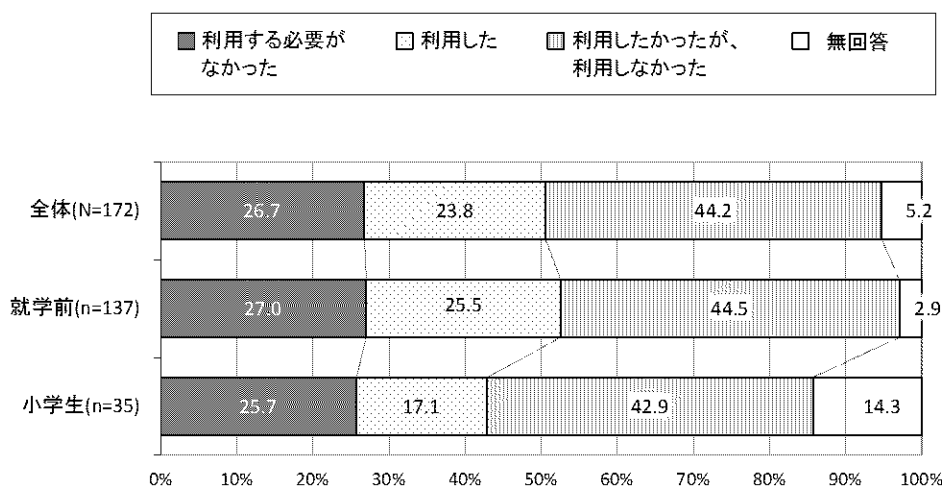
(19) 育児休業からの職場復帰時の、短時間勤務制度の利用状況（母親）

就学前児童：問 30－7（1）、小学生児童：問 23－7（1）

母親の短時間勤務制度の利用について、「利用したかったが、利用しなかった」が 44.2% と最も多く、次いで「利用する必要がなかった」(26.7%)、「利用した」(23.8%) となっています。「利用した」という回答は、小学生児童 (17.1%) よりも就学前児童 (25.5%) の方が高くなっています。

■ 短時間勤務制度の利用状況（母親）

N = 172



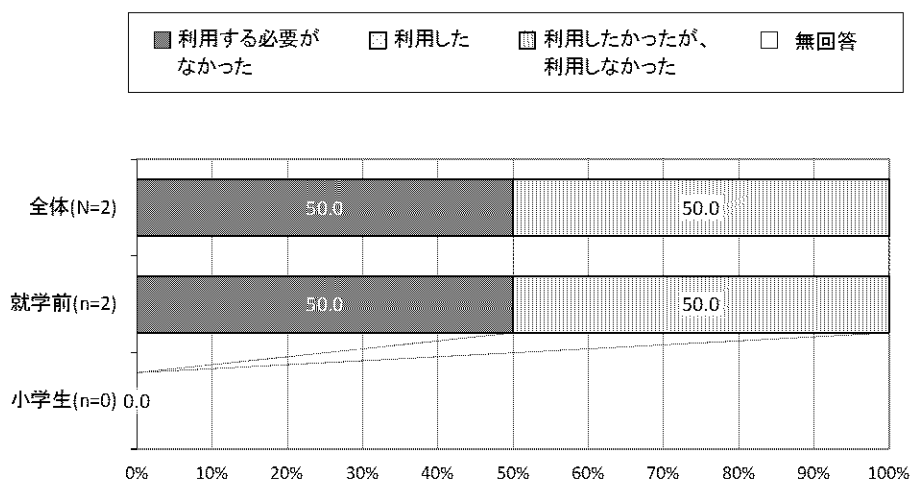
(20) 育児休業からの職場復帰時の、短時間勤務制度の利用状況（父親）

就学前児童：問 30－7（2）、小学生児童：問 23－7（2）

父親の短時間勤務制度の利用について、「利用する必要がなかった」と「利用したかったが、利用しなかった」がそれぞれ 50.0% となっており、「利用した」という回答はありません。

■ 短時間勤務制度の利用状況（父親）

N = 2



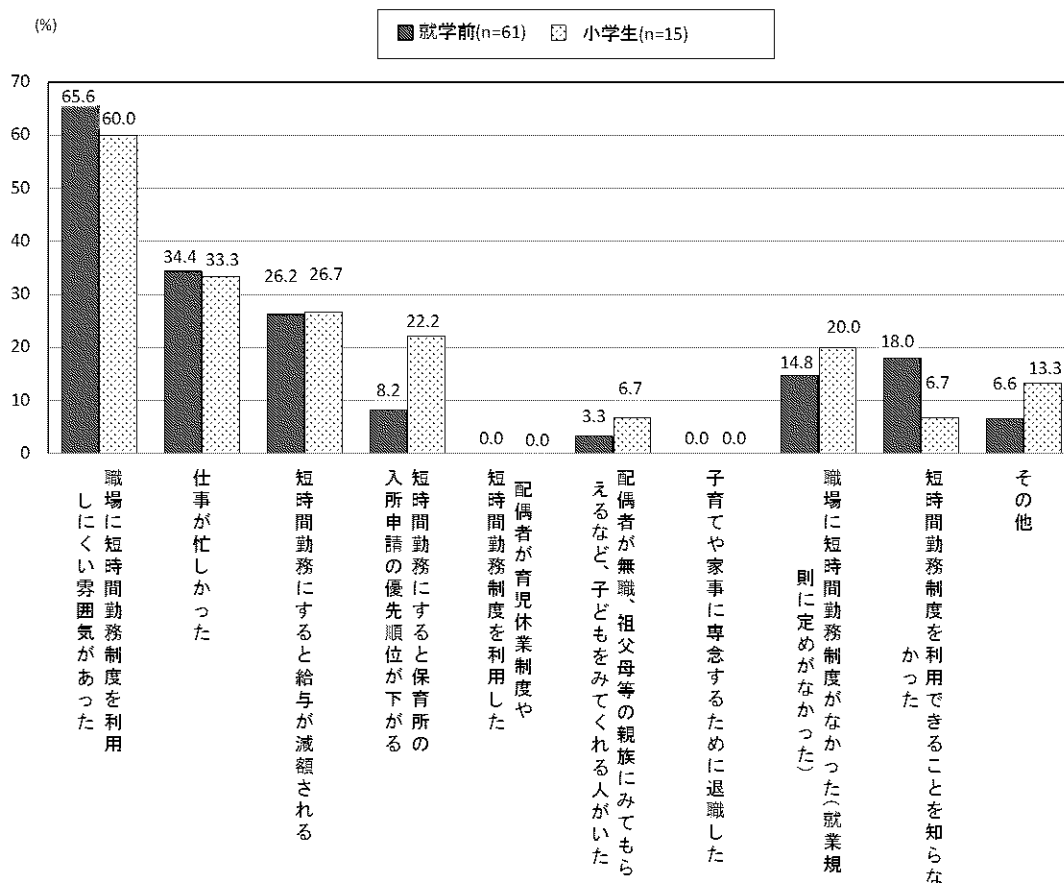
(21) 短時間勤務制度を利用しなかった、できなかった理由（母親）（複数回答）

就学前児童：問 30－8（1）、小学生児童：問 23－8（1）

母親の短時間勤務制度を利用していない理由としては、就学前児童、小学生児童ともに「職場に短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気があった」が多く、続いて「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」となっています。職場や仕事に関係する理由が上位を占めています。

■ 短時間勤務制度を利用しなかった、できなかった理由（母親）

N=76



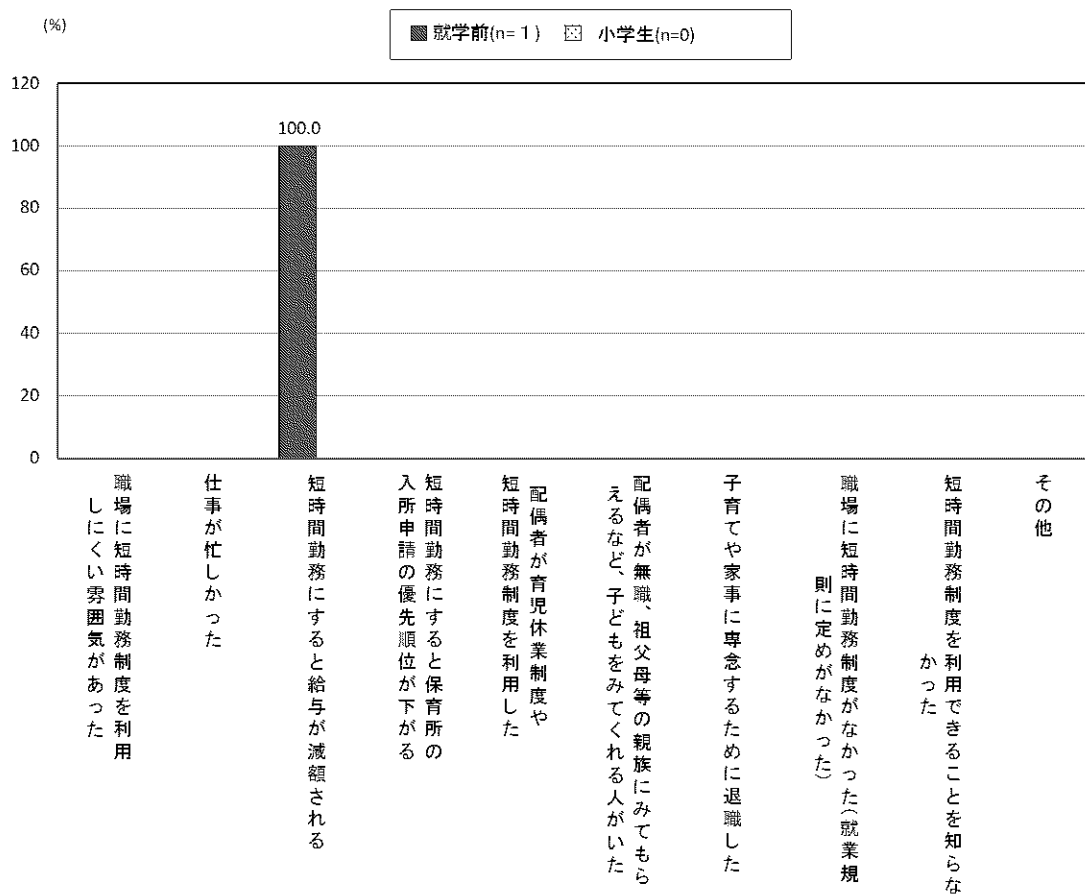
(22) 短時間勤務制度を利用しなかった、できなかった理由（父親）（複数回答）

就学前児童：問 30－8（2）、小学生児童：問 23－8（2）

父親の短時間勤務制度を利用していない理由として、就学前児童の父親 1 人から回答があり、「短時間勤務にすると給与が減額される」となっています。

■ 短時間勤務制度を利用しなかった、できなかった理由（父親）

N = 1

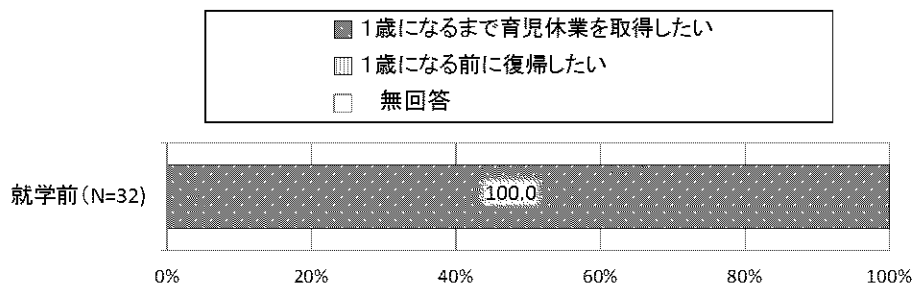


(23) 子どもが1歳になった時に利用可能な事業がある場合の、1歳まで育児休業取得の意向（母親）

就学前児童：問30-9（1）

子どもが1歳まで育児休業を取得することへの母親の意向としては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」という回答になっています。

■ 1歳まで育児休業取得の意向（母親） N=32



■ 1歳まで育児休業取得の意向（父親） N=0

該当なし

12. 鳥栖市における子育ての環境や支援

(1) 鳥栖市における子育ての環境や支援への満足度

就学前児童：問 31、小学生児童：問 24

鳥栖市における子育ての環境や支援の満足度について、「3」（40.8％）が最も高く、次いで満足度の高い「4」（25.1％）、満足度の低い「2」（20.3％）となっています。就学前児童では、満足度が高い4、5を合わせた値は、30.3％で、満足度が低い方の1、2を合わせた値26.6％より3.7％高くなっています。

小学生児童では、満足度が高い4、5の計が27.3％で、逆に満足度が低い1、2の計30.5％より3.2％低くなっています。小学生児童の方が、満足度が低くなっていることが分かります。

■子育ての環境や支援への満足度

